

**有料化事業容認の条件
～森林公園、レジ袋を中心に～**

2011年1月

濱岡豊研究会 8期生

40701595

石村徹也

【概要】

近年、環境問題を意識してレジ袋を有料化するなど、従来無料であった財が有料化される流れがある。森林公園やレジ袋を中心にどのような人々が有料化を容認し、またどのような条件下であれば有料化が容認されるのか、有料化された結果望ましい形で利用されるのかということを経済学特性と有料化事業の特性に着目して仮説を設定した。アンケートの結果、森林公園については利用適正化、イベントの充実、施設・設備の充実、安全対策が有料化容認に、レジ袋については、環境配慮素材性、価格、継続利用のインセンティブが利用適正化に影響を与えることが示された。

[キーワード] 有料化容認、コンジョイント分析、規範意識、利用意向

DO You Pay for Plastic Bags

January 2011

濱岡豊研究会 8 期生

4 0 7 0 1 5 9 5

Tetsuya Ishimura

[Abstract]

In late years, implementing a fee for “free” goods and services, for example shopping plastic bags, is getting attention. In this study I focus what kind of people admit implementing a fee or what condition people admit implementing a fee. I proposed hypotheses on consumers’ characteristic and characteristic of goods and services: forest parks and shopping bags. Through, questionnaire survey, I confirmed that admitting implementing fee for forest parks is affected by fair using, good event, facility improvement, and better security. And fair using of plastic bags is affected by environmentally better material, price, and incentive to reuse shopping bags.

[Keyword] admitting implementing fee , conjoint analysis, moral sense, intention for using

[目次]

| | | |
|-----|------------------------------------|----|
| 1 | はじめに | 4 |
| 2 | 事例研究 | 4 |
| 3 | 先行研究 | 7 |
| 3.1 | 先行研究のレビュー | 7 |
| 3.2 | 先行研究からの考察 | 8 |
| 4 | 仮説設定 | 10 |
| 4.1 | リサーチ目的 | 10 |
| 4.2 | 仮説設定 | 10 |
| 5 | データ分析 | 16 |
| 5.1 | 調査票の作成 | 17 |
| 5.2 | 調査方法 | 18 |
| 5.3 | 単純集計 | 18 |
| 5.4 | データ分析の手順 | 22 |
| 5.5 | 消費者の特性因子分析結果 | 23 |
| 5.6 | 消費者の特性単回帰分析結果 | 25 |
| 5.7 | 森林公園の特性分析結果 | 26 |
| 5.8 | レジ袋の特性分析結果 | 27 |
| 6 | 考察 | 30 |
| 6.1 | 仮説の検定結果 | 30 |
| 6.2 | 考察 | 32 |
| 6.3 | 実務へのインプリケーション | 36 |
| 6.4 | 今後の課題 | 36 |
| | 参考文献 | 37 |
| | 付属資料（消費者特性回帰分析追加結果、 調査票、ヒストグラム） | 38 |

1.はじめに

近年、ゴミ問題のリデュースの一環としてレジ袋有料化に取り組んでいる自治体もある。大半の自治体は小売業者との協定を結ぶ形をとっているが、例えば杉並区は条例化してレジ袋を年間20万枚以上使い食品を扱うスーパーを対象に条例を作り、レジ袋の四散防止に努めている。このような有料化は他にも財政難解消のために市役所駐車場を有料化したり、サービス充実のために公園を有料化するような例がある。

しかし一般的には需要曲線は右下がりであり需要量と価格には負の相関関係にあるため、需要量の減少が懸念される。そこで今回は数ある有料化事業の中でも、森林公園とレジ袋を中心に、消費者の特性、有料化事業の特性という2つの視点から、有料化事業が容認される条件を明らかにする事をレポートの目的とする。

2.事例研究

どのような有料化事業が存在するか事例調査とその考察を行った。

① レジ袋有料化条例

杉並区は「マイバック持参率 60%以上」を目標にレジ袋を年間20万枚以上使い食品を扱うスーパーを対象に条例を作り、レジ袋の四散防止に努めている。その結果、対象外のスーパーも20店舗が有料化に踏み切り、中にはマイバック持参率99%の店舗も存在する。

同区環境推進課は「マイバックの定着へ手応えを感じている」と述べているが、コンビニ等の店舗数の多さが問題となり、条例対象店舗の平均持参率は26.9%（2009年9月）に留まっている。

② 富山県犬猫引き取り有料化

富山県は2009年10月からモラル向上を目的に保健所における引き取りを有料化した。この背景には動物愛護団体からの批判、新潟県を初めとする35の道府県における先例がある。この有料化により犬猫の山等への放置が懸念されるが、2008年から実施している石川県は「放置増加傾向は見られない。」と述べている。

しかし、生後90日までは400円で、それ以上は2000円とされており、負担が小さいと指摘され効果が疑問視されている。

③ 「横浜バリュー2010」（視察の一部有料化）

横浜市独自の都市デザインの手法や景観整備のノウハウの提供を有料化するというもの

で、この背景として、横浜市の魅力あふれる都市整備に関する問い合わせが多く業務に支障が出ているという状況がある。この有料化により、自治体、官民間による競合関係の構築や、努力して生み出したノウハウの価値を認め市職員のモチベーション向上が期待されている。

④ 救急車有料化

2005年3月、1年間に50回近く救急車を呼んだ男が、搬送拒否されると救急隊に暴行するという事件が発生した。このような犯罪に発展した事例の他、軽症の場合のタクシー代わりの使用等迷惑通報が全国的に問題になっている。

アメリカでは「救わなければならない命を優先する」という考えから、ほぼ全土で有料化が実施されている。しかし、一概に軽症による通報が悪いとも言えず、本人や家族にとっては重症の場合に安心を提供するサービスとしての存在も無視できない等その是非が問われている。

⑤ 沖縄県那覇市職員駐車場の有料化

沖縄県那覇市は財政難解消を目的に、職員駐車場を有料化した。

徴収対象は乗用車1300台、バイク3000台で年間約5700万円の収益が見込まれる。

⑥ キャンプ場の有料化

和歌山県串本町望楼の芝キャンプ場では、長期休みには大量の利用者の存在のため税金で維持費を負担することが困難な他、ゴミを持ち帰らない利用者が多い等適正利用に関する問題も発生していた。加えてシャワーの新設等の設備充実を求める声があり、これらのことから有料化が検討された。

⑦ 指定管理者制度

自治体が、公共施設の管理を民間業者に委託するというもので、代表例として大分スポート公園、高尾山自然公園等がある。H18年度実施開始でH19年度の実績としては、前年度に比べ収入が増加した施設は21施設中11施設という結果になっている。

またこの制度の目的として、イベントの充実、施設・設備の充実、利用者サービスの充実が挙げられている。

事例のまとめ

上記の7つの有料化事業から以下の点があった。

- ・有料化事業の目的は図表1のように大別される。

図表1：有料化事業の目的

| 事例 | 目的 |
|-------|--------|
| 動物 | 利用適正化 |
| 視察 | 利用適正化 |
| 救急車 | 利用適正化 |
| レジ袋 | 利用適正化 |
| 駐車場 | 財政難解消 |
| キャンプ場 | サービス向上 |

なお、ここでいう「利用適正化」とは有料化を行った結果消費者の財に対する利用態度が望ましいものとなることを指す。

- ・サービス向上の内容

指定管理者制度の事例からサービス向上の具体例としてイベントの充実、施設・設備の充実が考えられる。

3.先行研究

3.1 先行研究のレビュー

有料化事業に関する論文のレビューを行った。

(1) 公園マネジメント論における利用者負担の可能性 (平尾2004)

呉市に所在する呉ポートピアパークの場合、管理運営費用 (呉市全公園の1/4)が比較的大きく市外からの利用者も多いこのことから、社会的公正の観点からも受益者負担が求められていた。

利用者に対するアンケート調査の結果、無料維持63.7%、有料化容認36.3%となったが、無料維持の声には「有料化に伴う需要減少による財政難が不安」、有料化容認の声には「ずっと続けて欲しいから協力する」というものがあり、双方の共通点は公園の「継続性」を考慮しているということだった。

アンケート結果を分析したところ、有料化を容認する消費者でも価格水準の上昇に伴い、利用頻度は減少すること、年齢と特定施設利用の是非と有料化容認はそれぞれ正の相関、利用頻度と有料化容認は負の相関 (利用頻度の高い人は有料化容認の傾向があるがその分負担額が大きくなってしまうことが原因にある。)が見られることの2点が明らかになった。

(2) 江戸時代の富士山における登山道・登山者管理と登山者による費用負担

(伊藤2009)

江戸時代では富士登山自体が商業的レクリエーションとなっており、複数ある登山ルートで課金がなされていた。有料である理由としては、①宿の整備、②荷物持ち、③道案内等のサービスが提供されていることが挙げられ、地域経済の活性化や、安全対策を目的としている。

しかし強引な客引き等で批判を受けサービス向上を目指した。課徴金をふもとの集落で一括回収をするなどの協力を行い、さらには競争経済のなかで接客サービスを改善することに成功した。

(3) 環境に優しいレジ袋の回収持参社会実験 (依田ら2004)

飯塚市議会は河川汚染の原因となるレジ袋の四散を防ぐため、レジ袋の有料販売を提案。有料で販売したレジ袋の再利用を促進することにより、環境に配慮することを目的とする。

スーパー1店舗による買い物客713人に、レジ袋を有料化したらどのレジ袋の購入を希望するかシナリオ法で調査した。調査に用いられたレジ袋は、一枚購入ごとにスーパーのスタンプ5個のインセンティブ付きで、①処理施設での分解性のある、なし(環境配慮)、②価格20円、50円 or 100円、③デザイン性のある、なしの3種類の属性が設定され

ていた。

この調査の結果、購入希望としては、①デザイン性のある分解性レジ袋（100円）、②デザイン性なしの分解性レジ袋（50円）、③デザイン性なしの分解性レジ袋（20円）が上位となった。

（４）海岸のゴミ減量化方策に関する研究（藤田ら、2007）

全国の自治体及び海岸清掃を実施しているボランティア団体に対してヒアリング調査を行い、海岸ゴミに対する考えや取り組みについて調査を行う。

その結果「海岸で問題となっているゴミは何か」という設問の回答として自治体は「流木」「海藻類」という自然発生的なゴミを挙げるのに対し、ボランティア団体は「煙草の吸殻」、「釣り具」等海岸利用者の投棄により発生するゴミを挙げている。

このような現状の中「放置ゴミに対する取組として行っていること」の回答として自治体は「看板設置」や「持ち帰り奨励のためのゴミ箱未設置」を挙げているのに対し、ボランティア団体は「放置されたゴミに対する取組に重点をおくため未実施」が最も多い。

藤田らはアンケート結果を踏まえ利用者の投棄によるゴミに対する事前の積極的な対策が望ましいと結論づけている。

3.2 先行研究からの考察

公園マネジメント論における利用者負担の可能性（平尾2004）からは、①やはり価格と需要量に負の相関性はある。②極端に消費者が有料化容認、無料化支持に偏るわけではない。③利用頻度と有料化容認には負の相関が見られる。以上の3点が明らかになった。

江戸時代の富士山における登山道・登山者管理と登山者による費用負担（伊藤2009）からは、①有料化してもある程度のサービス充実があるなら、消費者は有料化を容認。②同業種で有料化が実施されれば、競争原理が働きサービス向上につながる。③「サービス向上」、「安全対策の充実」が有料化による効果として考えられる。以上の3点が明らかになった。

環境に優しいレジ袋の回収持参社会実験（依田ら2004）からは、①レジ袋の四散化を防ぐ策としてエコバックの持参を推進するのみでなく、有料で販売したレジ袋の再持参を促進させるという方法があるということ。②有料レジ袋の属性として「レジ袋の環境配慮素材性」、「価格」、「レジ袋継続利用のためのインセンティブ」、「レジ袋のデザイン性」が考えられる。以上の2点が明らかになった。「レジ袋の価格」が高いものほど好まれる原因として2点考えられる。1点目はレジ袋の価格が高価であるほど、高級なものを手にしたいという消費者の欲求を刺激する、2点目は「レジ袋の価格」以外の「レジ袋のデザイン性」等の要素が決定に大きく影響したということである。

海岸のゴミ減量化方策に関する研究（藤田ら、2007）では自然発生的なゴミの他に

海岸利用者による投棄によって発生するゴミも問題であり事前に積極的な対策が必要なことが明らかとなった。海の家等の飲食施設やコンサート等の娯楽イベントが行われる海水浴場として整備されているものについては通常の海岸以上にゴミの投棄が深刻な可能性があると考えられる。

4. 仮説設定

先行研究、事例研究を元に仮説を設定する。

4.1 リサーチ目的

近年、環境問題を考慮したレジ袋の有料化や、サービス充実を目的とした従来無料であった公共施設の有料化が行われている。このような有料化は他にも財政難解消や、利用者の適切な利用を促進する目的で行われていることを事例研究から考察した。加えて先行研究から、現在まで行われてきた有料化事業の状況を把握した。

しかし一般的には需要曲線は右下がりであり需要量と価格には負の相関関係にあるため、需要量の減少が懸念される。そこで今回は数ある有料化事業の中でも、森林公園とレジ袋を中心に、消費者の特性、有料化事業の特性という2つの視点から、有料化事業が容認される条件を明らかにする事をリサーチの目的とする。

4.2 仮説設定

私達はどのような条件で有料化が容認されるのか、また環境配慮等望ましい形で利用されるのかということの発見を課題としているため、本研究では、被説明変数として有料化容認と利用適正化に着目する。

また、仮説が恣意的になるのを防ぐため、説明変数の設定根拠を事例研究、先行研究に求め、仮説を設定する。仮説の枠組みとして、財やサービスの特性、消費者特性に大別して仮説を設定する。

なお、ここでは財、サービスとして森林公園とレジ袋を取り上げる。以下でその理由を述べる。

呉ポートピアパークを始めとして公園施設が複数見られた。また事例研究でみた効率化を目的とした指定管理者制度も自然公園、スポーツ公園、森林公園等が対象となっている。自然公園は規模の巨大さから、アンケート調査の対象者が想起することが困難である可能性とスポーツ公園は利用者がスポーツを好む消費者に限定されてしまう可能性を考慮して森林公園を取り上げた。

また事例研究で取り上げたエコバック持参促進のための有料化条例や、依田ら（2004）のようにレジ袋の有料化へ向けた取組が行われている。このような中で、どのような属性を有するレジ袋を販売すれば、消費者が再度来店時に持参をし、その結果使用後のレジ袋が四散することのない望ましい利用状況となるかを測定したいと考え、レジ袋を取り上げた。なおレジ袋についてはどのような属性を有するレジ袋を販売することによって、消費者がレジ袋を再持参し、その結果レジ袋の四散化が起こらない望ましい状況になるかを調査するために「有料化容認」ではなく、レジ袋の再持参利用意向を調査するという形

式で「利用適正化」に着目した。

(1) 概念の定義

私が事例研究、先行研究で着目した概念は以下のものであり、以下のように定義する。

1) 被説明変数について

有料化容認：（もともと無料の）財やサービスが有料化されても、利用するかどうか。

利用適正化：（もともと無料の）財やサービスを本来の目的、あるいは望ましい形で利用する。

例 森林公園での利用適正化とは森林公園が有料化すると、消費者が今後自身や他者が対価を払って利用することを意識するようになり、ゴミを持ち帰ることで結果として森林公園が清潔に保たれるということを表す。

レジ袋での利用適正化とは購入した再度来店時に持参してもらえらば使用後のレジ袋の四散化が防がれているということとなり、レジ袋に対する消費者の利用態度が望ましいものになっているということを表す。

2) 説明変数について

・ 森林公園について

森林公園のイベントの充実：森林公園等の公共施設におけるイベントの内容面での充実

森林公園の施設・設備の充実：森林公園におけるアスレチックの設置等公共施設における設備の充実。

森林公園の安全対策：利用者の安全に対するサービスの充実

・ レジ袋について

レジ袋の環境配慮素材性：環境に配慮した素材で出来ているレジ袋

レジ袋の価格：販売するレジ袋の売値

レジ袋の継続利用のインセンティブ：有料レジ袋を購入したのち、再利用すると店舗のポイントが付くなどの特典

レジ袋のデザイン性：レジ袋のデザインの趣向の良さ

・ 海水浴場について

海水浴場利用意向：海水浴場の利用頻度または利用したいという意向の高さ

3)消費者の特性

規範意識：道徳、法律等の社会のルールを守ろうとする意識

(2)森林公園の特性と森林公園の有料化容認の相関に関する仮説

有料化の事例として呉ポートピアパークを始めとして公園施設が複数見られた。また事例研究でみた効率化を目的とした指定管理者制度も自然公園、スポーツ公園、森林公園等が対象となっている。自然公園は規模の巨大さから、アンケート調査の対象者が想起することが困難である可能性とスポーツ公園は利用者がスポーツを好む消費者に限定されてしまう可能性を考慮してここでは森林公園に着目した。

公共事業を民間に委託して、事業の効率化を図る指定管理者制度の目標として、利用適正化、イベントの充実、施設・設備の充実が挙げられる。また、無料であるがゆえに公園内の整備が施されていないという可能性も考えられる。江戸時代の富士山における登山道・登山者管理と登山者による費用負担（伊藤2009）でも安全対策は有料化の要因の1つとされている。(H1-1~H1-4) なお、ここでの利用適正化は有料化を行うことにより、消費者が今後も自身や他者が対価を払って利用することを意識することで公園内のゴミを持ち帰り、結果として公園内が清潔となる状況を想定している。

H1-1：森林公園の利用適正化と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

H1-2：森林公園のイベントの充実と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

H1-3a：森林公園の施設・設備の充実と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

H1-3b：森林公園の森林公園の施設・設備の充実と森林公園の有料化容認には負の相関がある。

H1-4：森林公園の安全対策と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

(3)消費者の特性と有料化容認の相関に関する仮説

元から規範意識の高い人は有料化によって周囲の人々の「今後も自身や他者が対価を払って使用する」という意識が高まり、利用が適正化されるのを期待するの否かを調査する。(H3-1)

H3-1：消費者の規範意識の高さと財全般についての有料化容認には正の相関がある

公園マネジメント論における利用者負担の可能性（平尾 2004）では、利用頻度と有料化容認に正の相関が見られた。これが別の財についても成り立つか追研究。もし成立すれば、有料化は効果ありの可能性が高い。今回は有料化の取組が数多く行われているレジ袋と藤田ら（2004）の指摘にあるように利用者によるゴミの不法投棄が問題となっている海水浴場に絞って利用意向と有料化容認の相関について調査を行う。（H3-2）

H3-2a：消費者のレジ袋利用意向とレジ袋有料化容認には正の相関がある。

H3-2b：消費者の海水浴場利用意向と海水浴場有料化容認には正の相関がある。

（4）レジ袋の特性とレジ袋の利用適正化の相関に関する仮説

事例研究で取り上げたエコバック持参促進のための有料化条例や、依田ら（2004）のようにレジ袋の有料化へ向けた取組が行われている。このような中で、どのような属性を有するレジ袋を販売すれば、消費者が再度来店時に持参をし、その結果使用後のレジ袋が四散することのない望ましい利用状況となるかを測定したいと考える。

エコバック持参促進のための有料化もあるが、依田ら（2004）と同様に、購入したレジ袋の継続利用→レジ袋の四散防止→レジ袋の利用適正化という視点も重要である。依田らのアンケートでは分解性レジ袋が購入希望の上位に見られた。このことから、環境に配慮したレジ袋とレジ袋の利用適正化の相関を調べる。（H2-1）
ここでの利用適正化の意味は購入したレジ袋を消費者が再度持参することにより、レジ袋の四散化が防がれるという状況を想定している。

H2-1：レジ袋の環境配慮素材性とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

上記アンケートでは価格の高いレジ袋ほど購入希望が上位。利用継続性との関係も調べる。（H2-2）

H2-2：レジ袋の価格とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

上記アンケートの結果、インセンティブは購入希望と相関はあまりないと出ている。利用継続性との関係も調査する。（H2-3）

H2-3：レジ袋の継続利用のインセンティブとレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

デザイン性のあるレジ袋は購入希望順位の上位には1つしか入らなかった。利用継続性

との関係も調査する。(H2-4)

H2-4：レジ袋のデザイン性とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

(5) 仮説のまとめ

・ 森林公園の特性と森林公園の有料化容認の相関に関する仮説

H1-1：森林公園の利用適正化と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

H1-2：森林公園のイベントの充実と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

H1-3a：森林公園の施設・設備の充実と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

H1-3b：森林公園の施設・設備の充実と森林公園の有料化容認には負の相関がある。

H1-4：森林公園の安全対策と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

・ 消費者の特性と有料化容認の相関に関する仮説

H3-1：消費者の規範意識の高さと財全般についての有料化容認には正の相関がある。

H3-2a：消費者のレジ袋利用意向とレジ袋有料化容認には正の相関がある。

H3-2b：消費者の海水浴場利用意向と海水浴場有料化容認には正の相関がある。

・ レジ袋の特性とレジ袋の利用適正化の相関に関する仮説

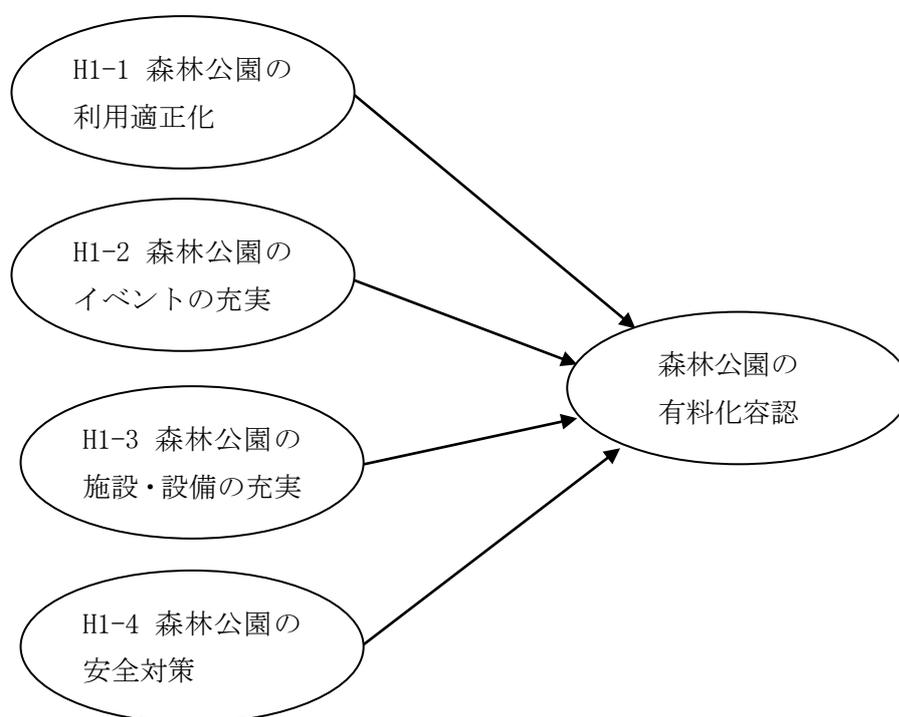
H2-1：レジ袋の環境配慮素材性とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

H2-2：レジ袋の価格とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

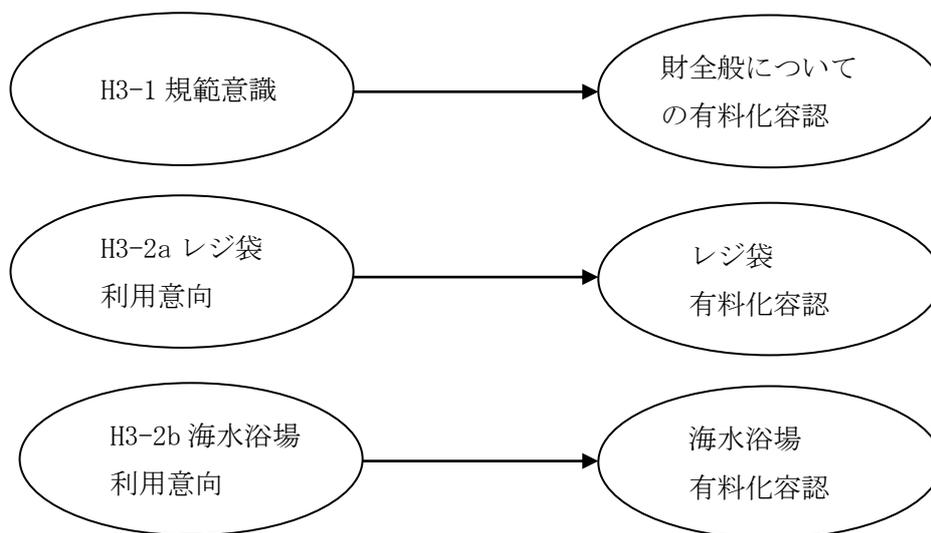
H2-3：レジ袋の継続利用のインセンティブとレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

H2-4：レジ袋のデザイン性とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

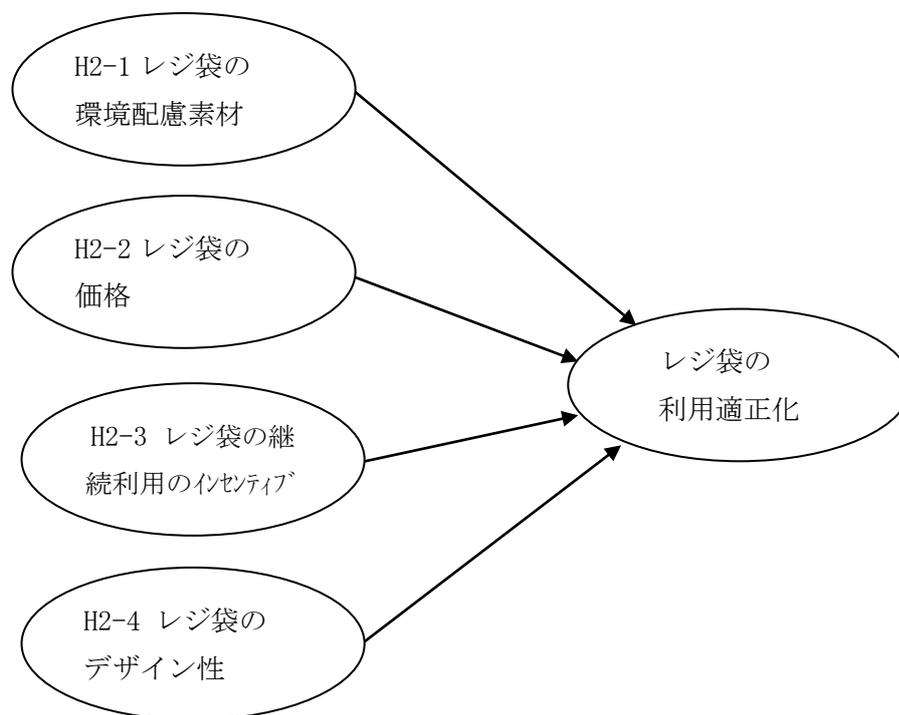
図表 2 : H1 森林公園の特性と森林公園の有料化容認の相関に関する仮説のパス図



図表 3 : H3 消費者特性に関する仮説のパス図



図表 4 : H2 レジ袋の特性とレジ袋の利用適正化の相関に関する仮説のパス図



5. データ分析

仮説を検証するため、調査結果の分析を行う。

5.1 調査票の作成

森林公園とレジ袋の特性に関する仮説 H1 と H2 については、実際の森林公園等を例に挙げると主観的な調査となる恐れがあるため、仮想的な森林公園とレジ袋を提示して有料化を容認するかまたは、適切な利用を行うかを回答させるというシナリオ法を用いたコンジョイント分析を行った。

森林公園については森林公園の利用適正化、森林公園のイベントの充実、森林公園の施設・設備の充実、森林公園の安全対策の水準が均等になるように直交表をもとに8種類の有料化後の森林公園のパターンを作成し、いくらまで払えるかを⑤700円、④500円、③300円、②100円、①0円の5段階で評価を行ってもらう。なお分析の際には③以上の回答を森林公園の有料化容認とみなし1と変換、③未満の回答を有料化否認とみなし0と変換し、2水準の被説明変数とする。

レジ袋についてはレジ袋の環境配慮素材性、レジ袋の価格、レジ袋の継続利用のインセンティブ、レジ袋のデザイン性の水準が均等になるように直交表をもとに8種類の有料レジ袋のパターンを作成し、そのレジ袋を購入するという前提で、再度来店時持参するかどうかを⑤持参する、④どちらかと言えば持参する、③どちらとも言えない、②どちらかと言えば持参しない、①持参しない、の5段階で評価を行ってもらう。

消費者特性についての仮説である H3 に関しては、説明変数となる項目、被説明変数となる項目それぞれを設定して、今回は説明変数3つのうち、2つがそれぞれ「レジ袋利用意向」と「海水浴場利用意向」という個別に有料化が容認されるかどうかを測定しなければならないものとなったため、単回帰分析によって検定することにした。またできる限り多数の財について有料化容認との相関について考察するため、「規範意識」に関してのみ、被説明変数「有料化容認」に該当する因子を「財全般についての有料化容認」と名付けた。

具体的調査方法としては、実際の消費者の特性に基づく検定を行うために実態調査形式を採用し、アンケート方式で回答者にそれぞれの質問項目に対して自分はどれくらいあてはまるかを、「非常にそう思う」を5、「全くそう思わない」を1として、リッカート形式の5段階で評価してもらう。また部分的に自分に該当するものを1～5の中から選んでもらうものも作成した。

5.2 調査方法

2010年10月、慶應義塾の大学生を中心として、18歳～82歳までにアンケートを実施。有効回答数は81。分析に使用した統計ソフトは、SPSS。

5.3 単純集計

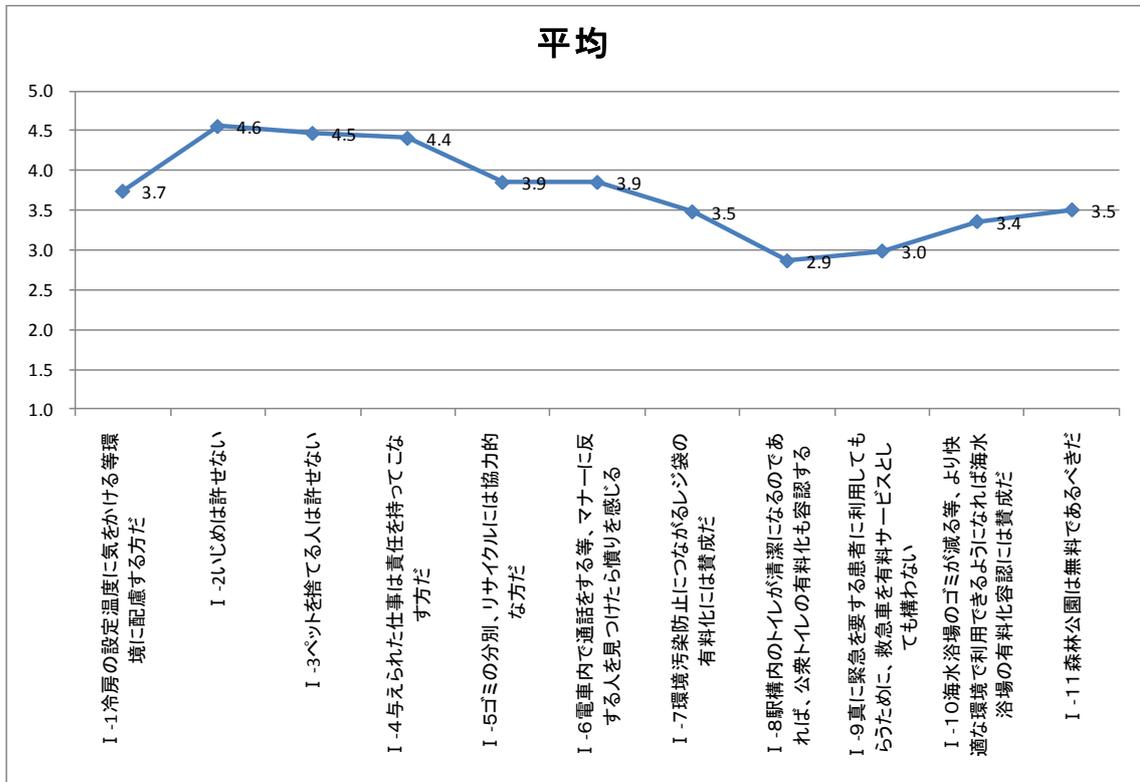
分析に入る前に、それぞれの質問項目の平均値を算出した。

一つ目の被説明変数となる財全般についての有料化容認を聞く設問Ⅰ-8「駅構内のトイレが清潔になるのであれば、公衆トイレの有料化も容認する」、Ⅰ-9「真に緊急を要する患者に利用してもらうために、救急車を有料サービスとしても構わない」、Ⅰ-11「森林公園は無料であるべきだ」は [非常にそう思う ← 5 4 3 2 1 → 全くそう思わない] の5点尺度で平均がそれぞれ 2.864、2.988、3.508 とおおむね良好であった。

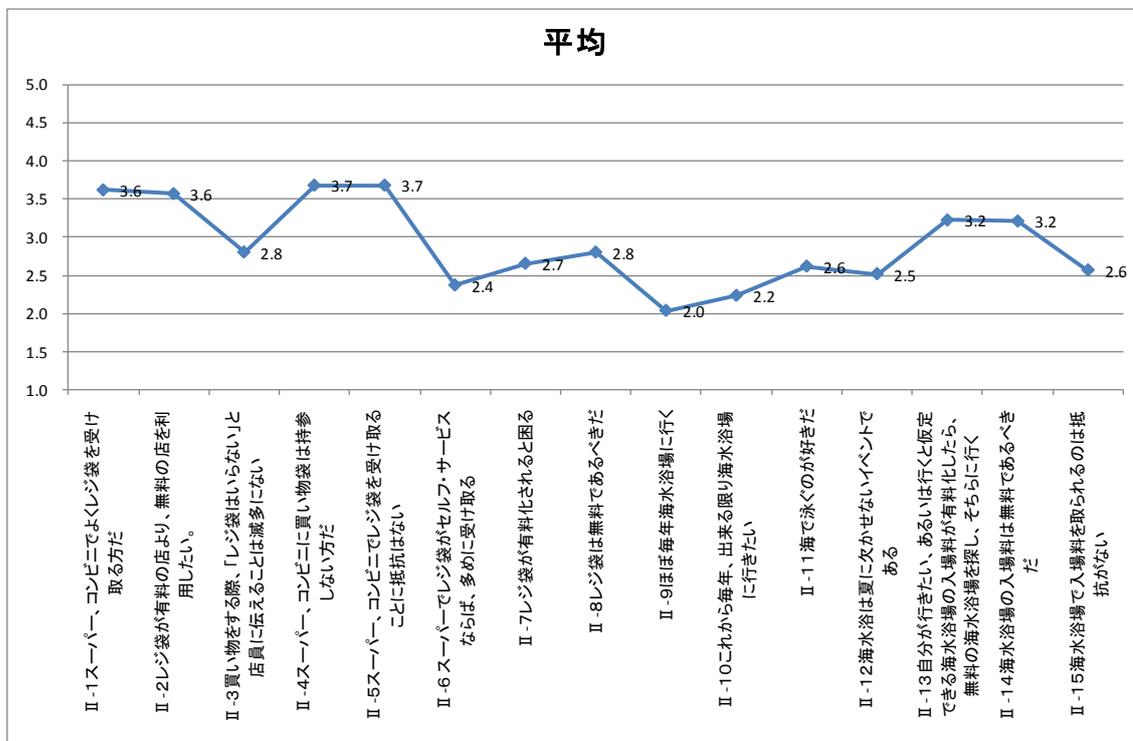
二つ目の被説明変数となるレジ袋有料化容認を聞く設問Ⅰ-7「環境汚染防止につながるレジ袋の有料化には賛成だ」、Ⅱ-2「レジ袋が有料の店より、無料の店を利用したい」、Ⅱ-7「レジ袋が有料化されると困る」、Ⅱ-8「レジ袋は無料であるべきだ」は [非常にそう思う ← 5 4 3 2 1 → 全くそう思わない] の5点尺度で平均がそれぞれ 3.418、3.568、2.654、2.802 とおおむね良好であった。

三つ目の被説明変数となる海水浴場有料化容認について聞く質問Ⅱ-13「自分が行きたい、あるいは行くと仮定できる海水浴場の入場料が有料化したら、無料の海水浴場を探し、そちらに行く」、Ⅱ-14「海水浴場の入場料は無料であるべきだ」、Ⅱ-15「海水浴場で入場料を取られるのは抵抗がない」は [非常にそう思う ← 5 4 3 2 1 → 全くそう思わない] の5点尺度で平均がそれぞれ 3.222、3.210、2.568 とおおむね良好であった。

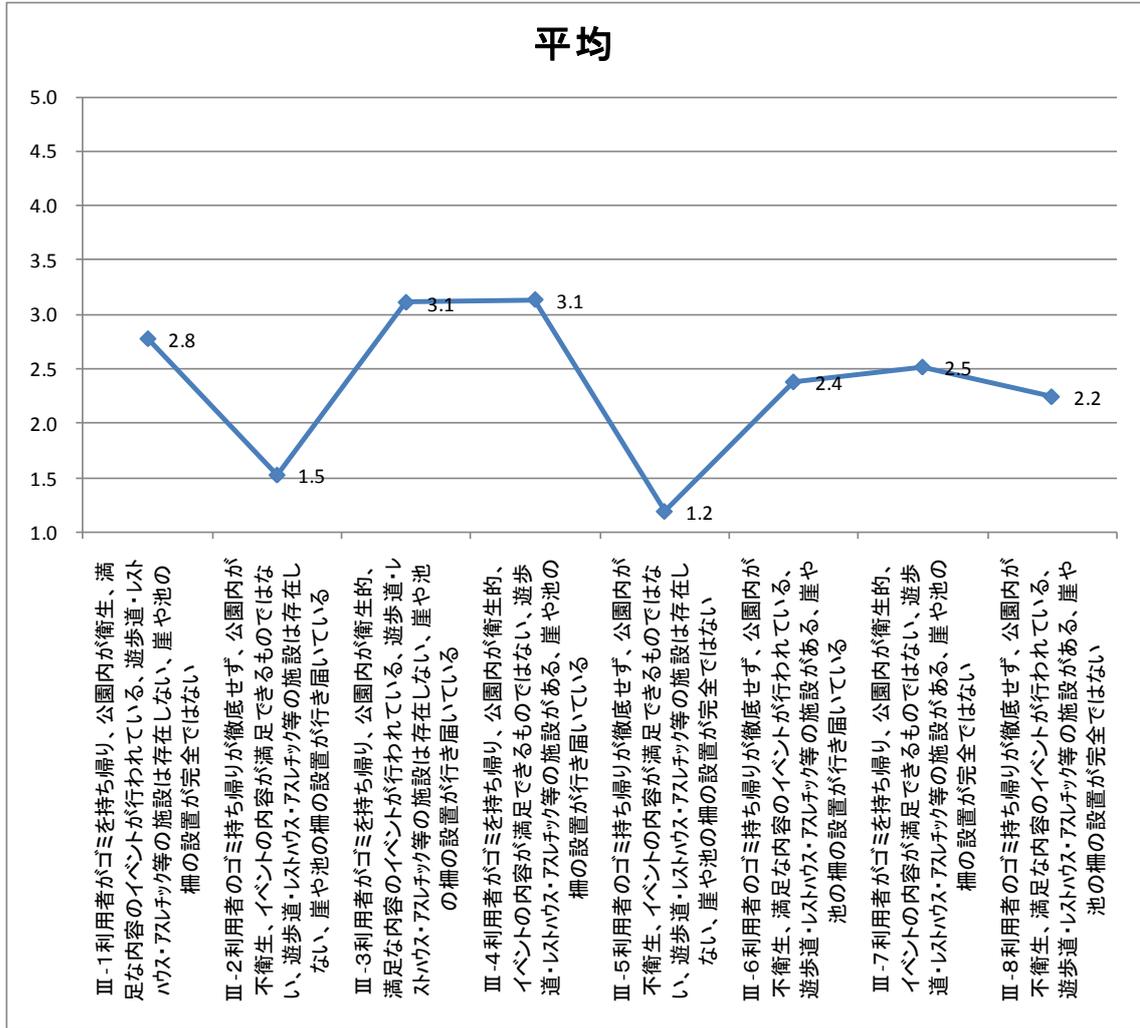
図表 5 : 規範意識と財全般についての有料化容認に関する設問の平均値グラフ



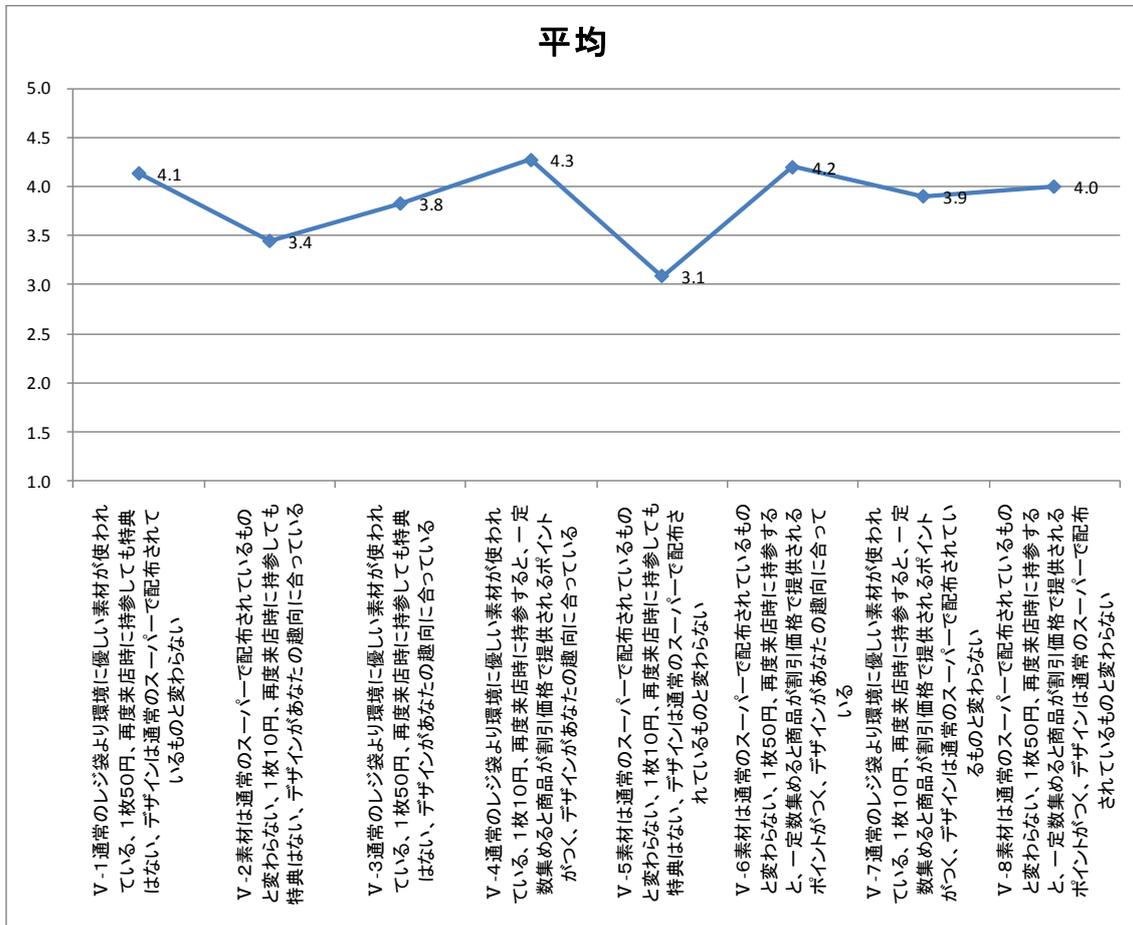
図表6：レジ袋利用意向とレジ袋有料化容認、海水浴場利用意向とレジ袋有料化容認に関する設問の
 平均値グラフ



図表7：森林公園の特性に関する設問の平均値グラフ



図表 8：レジ袋の特性に関する設問の平均値グラフ



5.4 データ分析の手順

最初に、消費者の特性についての H3 について分析を行う。消費者の特性についての H3 に関しては因子分析と、設問間の収束妥当性を表すクロンバック α 係数の測定を行った。

そしてクロンバック α 係数が高くなった項目を用いて因子得点を算出し、単回帰分析を行った。ここでは財全般についての有料化容認、レジ袋有料化容認、海水浴場有料化容認の因子を被説明変数とする。(消費者特性の重回帰分析については付属資料参照)

森林公園についての H1 に関しては、森林公園の利用適正化、森林公園のイベントの充実、森林公園の施設・設備の充実を説明変数、森林公園の有料化容認を被説明変数として重回帰分析を行った。

レジ袋についての H2 に関しては、レジ袋の環境配慮素材性、レジ袋の価格、レジ袋の継続利用のインセンティブ、レジ袋のデザイン性を説明変数、利用適正化を被説明変数として重回帰分析を行った。

使用した統計ソフトは H1～H3 全て SPSS である。

5.5 消費者の特性因子分析結果

消費者特性の設問を因子6つに分けた結果、設問 I-10 「海水浴場のゴミが減る等、より快適な環境で利用できるようになれば海水浴場の有料化容認には賛成だ」がどの因子にも属さず、レジ袋利用意向として想定した設問 II-6 「スーパーでレジ袋がセルフ・サービスならば、多めに受け取る」が、財全般についての有料化容認の因子に属してしまったため、分析の際には削除することにした。

黄色は、因子負荷量0.5以上を表す。なお回転はプロマックス回転をおこなった。

図表9：各因子のそれぞれの設問に対する因子負荷量と固有値、寄与率

| | 規範意識 | 海水浴場 利用意向 | レジ袋 利用意向 | レジ袋有料化 容認 | 海水浴場 有料化容認 | 財全般につい ての有料化 |
|---|--------|--------------|-------------|--------------|---------------|-----------------|
| I-1冷房の設定温度に気をつける等環境に配慮する方だ。 | 0.676 | -0.055 | 0.065 | 0.192 | -0.294 | 0.119 |
| I-3ペットを捨てる人は許せない。 | 0.785 | -0.081 | 0.17 | 0.096 | 0.096 | -0.334 |
| I-2いじめは許せない。 | 0.748 | 0.016 | 0.116 | 0.103 | 0.114 | -0.146 |
| I-4与えられた仕事は責任を持ってこなす方だ。 | 0.524 | 0.137 | -0.237 | -0.399 | 0.074 | 0.085 |
| I-5ゴミの分別、リサイクルには協力的な方だ。 | 0.683 | -0.177 | -0.072 | -0.011 | -0.04 | -0.047 |
| I-6電車内で通話をする等、マナーに反する人を見つけたら憤りを感じる。 | 0.648 | -0.039 | -0.149 | -0.07 | -0.012 | 0.229 |
| I-7環境汚染防止につながるレジ袋の有料化には賛成だ。 | 0.346 | 0.109 | -0.032 | 0.635 | -0.003 | 0.099 |
| I-8駅構内のトイレが清潔になるのであれば、公衆トイレの有料化も容認する。 | -0.176 | 0.031 | -0.012 | 0.253 | 0.109 | 0.721 |
| I-9真に緊急を要する患者に利用してもらうために、救急車を有料サービスとしても構わない。 | 0.188 | 0.051 | -0.076 | -0.072 | 0.022 | 0.76 |
| I-11森林公園は無料であるべきだ。 | -0.295 | -0.268 | 0.123 | 0.07 | 0.239 | 0.456 |
| II-1スーパー、コンビニでよくレジ袋を受け取る方だ。 | -0.038 | 0.121 | 0.819 | -0.083 | 0.019 | 0.083 |
| II-2レジ袋が有料の店より、無料の店を利用したい。 | -0.277 | -0.058 | -0.437 | 0.51 | 0.037 | -0.085 |
| II-3買い物をする際、「レジ袋はいらない」と店員に伝えることは減多にない。 | 0.123 | -0.12 | 0.788 | -0.091 | -0.13 | 0.172 |
| II-4スーパー、コンビニに買い物袋は持参しない方だ。 | -0.02 | 0.055 | 0.785 | 0.059 | 0.07 | -0.315 |
| II-5スーパー、コンビニでレジ袋を受け取ることに抵抗はない。 | -0.191 | 0.005 | 0.599 | -0.308 | -0.06 | 0.014 |
| II-7レジ袋が有料化されると困る。 | 0.159 | 0.058 | -0.149 | 0.696 | -0.027 | 0.128 |
| II-8レジ袋は無料であるべきだ。 | -0.06 | -0.01 | -0.055 | 0.891 | -0.084 | 0.071 |
| II-9ほぼ毎年海水浴場に行く。 | -0.062 | 0.838 | -0.033 | -0.088 | 0.137 | 0.041 |
| II-10これから毎年、出来る限り海水浴場に行きたい。 | -0.016 | 0.907 | 0.102 | 0.199 | -0.068 | -0.071 |
| II-11海で泳ぐのが好きだ。 | -0.095 | 0.81 | -0.037 | 0.044 | -0.101 | 0.009 |
| II-12海水浴は夏に欠かせないイベントである。 | -0.098 | 0.913 | 0.065 | -0.055 | 0.011 | 0.04 |
| II-13自分が行きたい、あるいは行くと仮定できる海水浴場の入場料が有料化したら、無料の海水浴場を探し、そちらに行く。 | -0.164 | -0.094 | 0.11 | 0.085 | 0.795 | -0.08 |
| II-14海水浴場の入場料は無料であるべきだ。 | 0.011 | -0.022 | -0.091 | -0.118 | 0.779 | 0.027 |
| II-15海水浴場で入場料を取られるのは抵抗がない。 | 0.03 | 0.085 | -0.107 | -0.108 | 0.67 | 0.202 |
| 固有値 | 4.895 | 3.355 | 2.753 | 2.09 | 1.907 | 1.481 |
| 寄与率 | 18.827 | 12.903 | 10.589 | 8.04 | 7.334 | 5.695 |
| 累積寄与率 | 18.827 | 31.73 | 42.319 | 50.36 | 57.693 | 63.389 |

注) 回転はプロマックス回転を用いた。

クロンバック α 係数は以下のようになった。次のように質問項目を因子にまとめるとクロンバック α 係数が約 0.5 以上となる。このことから、測定の弁別妥当性や収束妥当性が確認できた。

以下では因子分析で得られた因子得点を用いて分析を進める。

図表 10：各変数のクロンバック α 係数

| 概念 | 用いた項目 | α 係数 | 項目数 |
|-----------------------|---|-------------|-----|
| 規範意識 | I-1 冷房の設定温度に気をかける等環境に配慮する方だ。 I-2 いじめは許せない。 I-3 ペットを捨てる人は許せない。 I-4 与えられた仕事は責任を持ってこなす方だ。 I-5 ゴミの分別、リサイクルには協力的な方だ。 I-6 電車内で通話をする等、マナーに反する人を見つけたら憤りを感じる。 | 0.759 | 6 |
| 海水浴場 利用意向 | II-9 ほぼ毎年海水浴場に行く。 II-10 これから毎年、出来る限り海水浴場に行きたい。 II-11 海で泳ぐのが好きだ。 II-12 海水浴は夏に欠かせないイベントである。 | 0.887 | 4 |
| レジ袋 利用意向 | II-1 スーパー、コンビニでよくレジ袋を受け取る方だ。 II-3 買い物をする際、「レジ袋はいらない」と店員に伝えることは滅多にない。 II-4 スーパー、コンビニに買い物袋は持参しない方だ。 II-5 スーパー、コンビニでレジ袋を受け取ることに抵抗はない。 | 0.821 | 4 |
| レジ袋 有料化容認 | I-7 環境汚染防止につながるレジ袋の有料化には賛成だ。 II-2 レジ袋が有料の店より、無料の店を利用したい。 II-7 レジ袋が有料化されると困る。 II-8 レジ袋は無料であるべきだ。 | 0.772 | 4 |
| 海水浴場 有料化容認 | II-13 自分が行きたい、あるいは行くと仮定できる海水浴場の入場料が有料化したら、無料の海水浴場を探し、そちらに行く。 II-14 海水浴場の入場料は無料であるべきだ。 II-15 海水浴場で入場料を取られるのは抵抗がない。 | 0.655 | 3 |
| 財全般につい ての有料化容 認 | I-8 駅構内のトイレが清潔になるのであれば、公衆トイレの有料化も容認する。 I-9 真に緊急を要する患者に利用してもらうために、救急車を有料サービスとしても構わない。 I-11 森林公園は無料であるべきだ。 | 0.508 | 3 |

注) クロンバック α 係数約 0.5 以上のものが「まとまりが良い」と判断した。

5.6 消費者の特性単回帰分析結果

H3 について一つ目は財全般についての有料化容認の因子を被説明変数、規範意識の因子を説明変数とした。

二つ目はレジ袋有料化容認の因子を被説明変数、レジ袋利用意向についての因子を説明変数とした。

三つめは海水浴場有料化容認の因子を被説明変数、海水浴場利用意向を説明変数とした。

単回帰分析の結果(図表 1 1、1 2、1 3)、H3-1 規範意識の係数は正だが有意にはならなかった($\beta = .147$, $p=0.19$)。H3-2 利用意向の係数はレジ袋のみ負で有意となった(レジ袋: $\beta = -.264$, $p=0.02$)、海水浴場: $(\beta = -.148$, $p=0.19)$ 。

よって H3-1、H3-2 は棄却される。

図表 1 1 : 規範意識と財全般についての有料化容認単回帰分析

| | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-----------|-------|-------|------|
| (定数) | | 0 | 1 |
| H3-1 規範意識 | 0.147 | 1.318 | 0.19 |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数 : 0.022

修正決定係数 : 0.009

図表 1 2 : レジ袋利用意向とレジ袋有料化容認単回帰分析

| | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-------------------|--------|-------|--------|
| (定数) | | 0 | 1 |
| H3-2a レジ袋 利用意向 | -0.264 | -2.43 | 0.02** |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数 : 0.070

修正決定係数 : 0.058

図表 1 3 : 海水浴場利用意向と海水浴場有料化容認単回帰分析

| | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-------------------|--------|--------|------|
| (定数) | | 0 | 1 |
| H3-2b海水浴場 利用意向 | -0.148 | -1.331 | 0.19 |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数 : 0.022 修正決定係数 : 0.010

5.7 森林公園の特性分析結果

森林公園については、以下の直交表を基にプロフィールを作成した。ここで用いた属性と水準は以下の通りである。

森林公園の利用適正化 : yes 「利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的。」、no 「利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が不衛生。」

森林公園のイベントの充実 : yes 「満足な内容のイベントが行われている」、no 「イベントの内容が満足できるものではない」

森林公園の施設・設備の充実 : yes 「遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設がある」、no 「遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設は存在しない」

森林公園の安全対策の充実 : yes 「崖や池の柵の設置が行き届いている」、no 「崖や池の柵の設置が完全ではない」

一人に対して8つのプロフィールを提示して「いくらまで払えるか」を5段階で回答させた。

図表 14 : 直交表

| | 利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的 | 満足な内容のイベントが行われている | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設がある | 崖や池の柵の設置が行き届いている。 |
|-------|---------------------|-------------------|--------------------------|-------------------|
| 森林公園1 | yes | yes | no | no |
| 森林公園2 | no | no | no | yes |
| 森林公園3 | yes | yes | no | yes |
| 森林公園4 | yes | no | yes | yes |
| 森林公園5 | no | no | no | no |
| 森林公園6 | no | yes | yes | yes |
| 森林公園7 | yes | no | yes | no |
| 森林公園8 | no | yes | yes | no |

重回帰分析の結果は以下の通りである。(図表 1 5)

H1-1 : 森林公園の利用適正化の係数は正で有意となった。($\beta = .460$ 、 $p = .00***$)

H1-2：森林公園のイベントの充実の係数は正で有意となった。(β = .226、p = .00***)

H1-3：森林公園の施設・設備の充実の係数は正で有意となった。(β = .124、p = .00***)

H1-4：森林公園の安全対策の係数は正で有意となった。(β = .098、p = .00***)

H1 に関しては、重回帰分析の結果、森林公園の利用適正化、森林公園のイベントの充実、森林公園の施設・設備の充実、森林公園の安全対策はそれぞれ森林公園の有料化容認と正の相関があることが分かった。

よって、H1-1、H1-2、H1-3a、H1-4 は採択、H1-3 b は棄却された。

また各標準化係数の比較により森林公園の利用適正化、森林公園のイベントの充実、森林公園の施設・設備の充実、森林公園の安全対策の順に属性が重視されることが分かった。

図表 15：森林公園の特性重回帰分析結果

| モデル | | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-----|-------------------|-------|--------|--------|
| 1 | (定数) | | .539 | .590 |
| | H1-1 森林公園の利用適正化 | .460 | 12.655 | .00*** |
| | H1-2 森林公園のサービス充実 | .226 | 6.225 | .00*** |
| | H1-3 森林公園の施設設備の充実 | .124 | 3.383 | .00*** |
| | H1-4 森林公園の安全対策 | .098 | 2.664 | .00*** |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数：0.292

修正決定係数：0.288

5.8 レジ袋の特性分析結果

レジ袋については、以下の直交表を基にプロフィールを作成した。ここで用いた属性と水準は以下の通りである。

レジ袋の環境配慮素材性：yes「通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている」、no「素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない」

レジ袋の価格：yes「価格は1枚50円」、no「価格は1枚10円」

レジ袋の継続利用のインセンティブ：yes「再度来店時に持参すると、一定数集めると、商品が割引価格で提供されるポイントがつく」、no「再度来店時に持参しても特典はない」

レジ袋のデザイン性：yes「デザインがあなたの趣向に合っている。」、no「デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない。」

一人に対して8つのプロフィールを提示して「次回以降来店時持参するか」を5段階で回答させた。

図表 16：直交表

| | レジ袋に環境配慮した素材が使われている | 価格 (yes50円、no10円) | 再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引されるポイントあり | デザインがあなたの趣向に合っている |
|------|---------------------|-------------------|-----------------------------------|-------------------|
| レジ袋1 | yes | yes | no | no |
| レジ袋2 | no | no | no | yes |
| レジ袋3 | yes | yes | no | yes |
| レジ袋4 | yes | no | yes | yes |
| レジ袋5 | no | no | no | no |
| レジ袋6 | no | yes | yes | yes |
| レジ袋7 | yes | no | yes | no |
| レジ袋8 | no | yes | yes | no |

重回帰分析の結果は以下の通りである。(図表 17)

H2-1：レジ袋の環境配慮素材性の係数は正で有意となった。(β = .117、p = .00***)

H2-2：レジ袋の価格の係数は正で有意となった。(β = .181、p = .000***)

H2-3：レジ袋の継続利用のインセンティブの係数は正で有意となった。(β = .183、p = .00***)

H2-4：レジ袋のレジ袋のデザイン性の係数は正で有意とならなかった。(β = .068、p = .10)

H2 に関しては、重回帰分析の結果、レジ袋の環境配慮素材性、レジ袋の価格、レジ袋の継続利用のインセンティブ、それぞれとレジ袋の利用適正化と正の相関があることが分かった。

よって、H2-1、H2-2、H2-3 は採択、H2-4 は棄却された。

また各標準化係数の比較によりレジ袋の継続利用のインセンティブ、レジ袋の価格、レジ袋の環境配慮素材性の順に属性が重視されることが分かった。

図表 17 : レジ袋の特性重回帰分析結果

| モデル | | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-----|----------------------|-------|-------|--------|
| 1 | (定数) | | 31.16 | .00*** |
| | H2-1レジ袋の環境配慮素材性 | 0.12 | 2.82 | .00*** |
| | H2-2レジ袋の価格 | 0.18 | 4.38 | .00*** |
| | H2-3レジ袋の継続利用のインセンティブ | 0.18 | 4.40 | .00*** |
| | H2-4レジ袋のデザイン性 | 0.07 | 1.63 | 0.10 |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数 : 0.083 修正決定係数 : 0.077

6.考察

この章では、分析結果に基づいて、仮説の検定結果をまとめ、考察を行う。

6.1 仮説の検定結果

設定した仮説の検定結果を以下にまとめる。

(1) 森林公園の特性についての仮説

H1-1：森林公園の利用適正化と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

→採択

H1-2：森林公園のイベントの充実と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

→採択

H1-3a：森林公園の施設・設備の充実と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

→採択

H1-3b：森林公園の施設・設備の充実と森林公園の有料化容認には負の相関がある。

→棄却

H1-4：森林公園の安全対策と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

→採択

(2) 消費者特性についての仮説

H3-1：消費者の規範意識の高さと有料化容認には正の相関がある。

→棄却

H3-2a：消費者のレジ袋利用意向と有料化容認には正の相関がある。

→棄却

H3-2b：消費者の海水浴場利用意向と有料化容認には正の相関がある

→棄却

(3) レジ袋の特性についての仮説

H2-1：レジ袋の環境配慮素材性とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

→採択

H2-2：レジ袋の価格とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

→採択

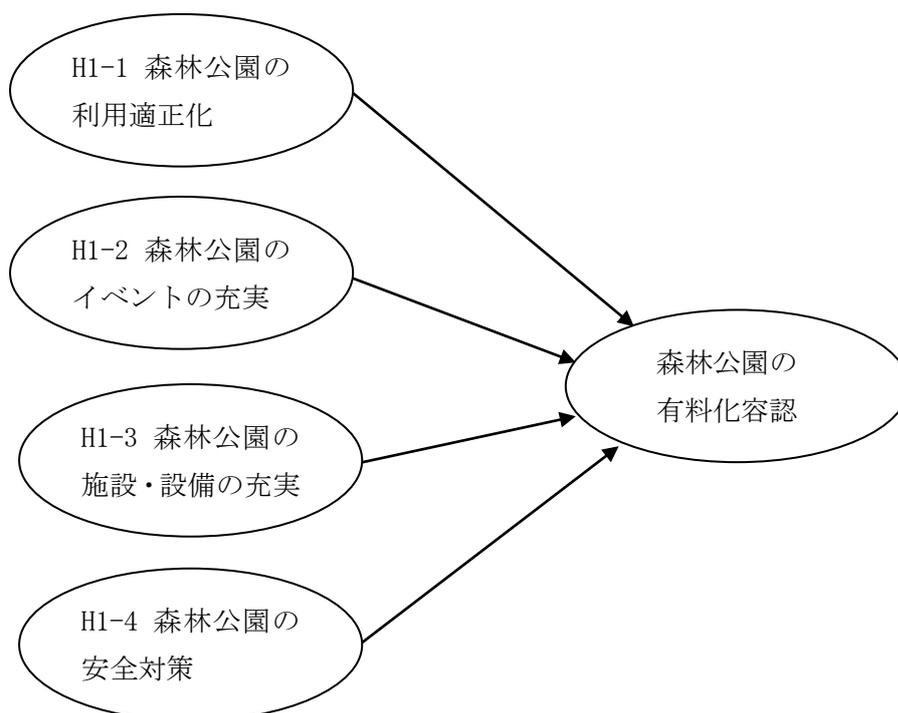
H2-3 : レジ袋の継続利用のインセンティブとレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

→採択

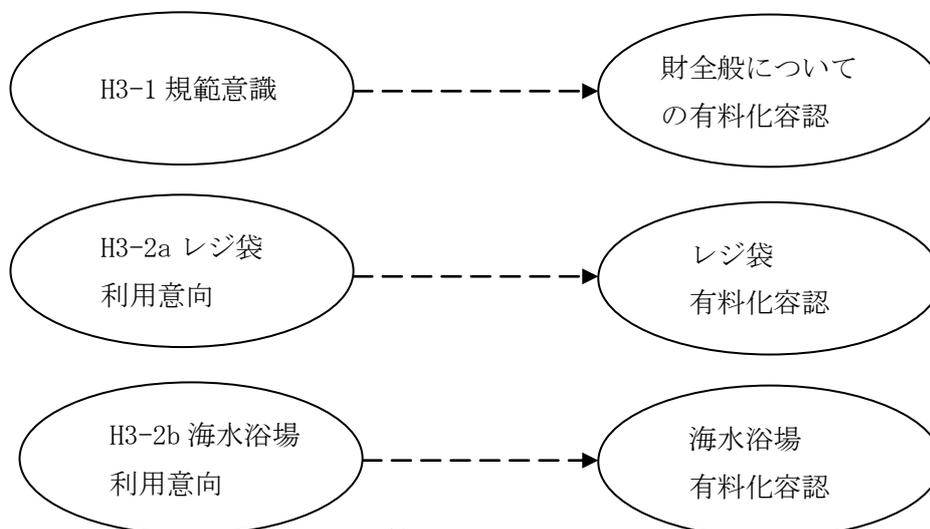
H2-4 : レジ袋のデザイン性とレジ袋の利用適正化には正の相関がある

→棄却

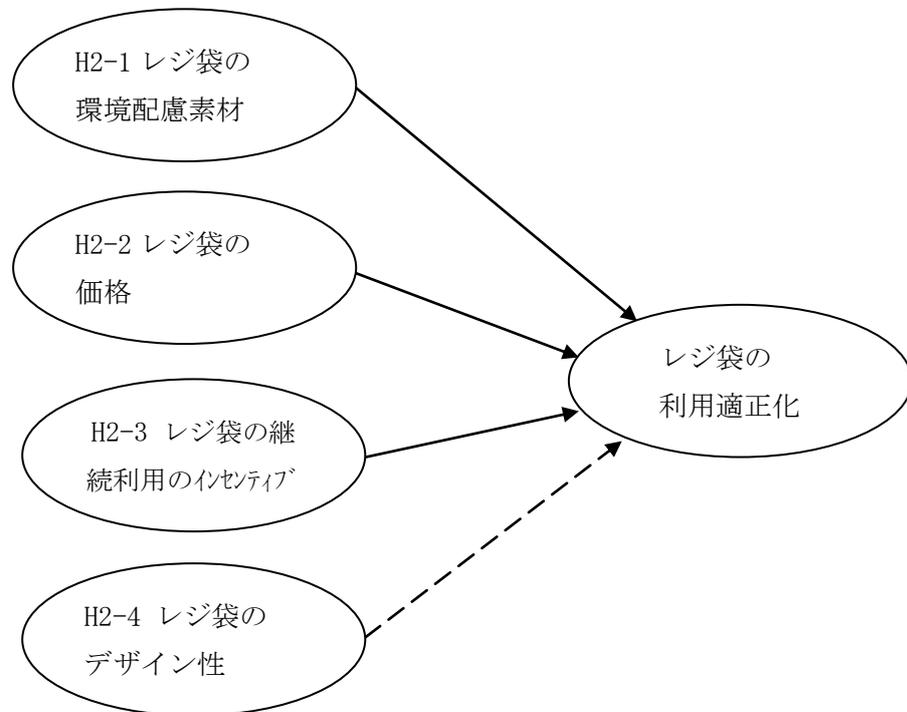
図表 1 8 : H1 森林公園の特性と森林公園の有料化容認の相関に関する
仮説のパス図 (検定後)



図表 1 9 : H3 消費者特性と財全般に関する有料化容認の相関に関する仮説のパス図
(検定後) (破線は棄却を表す。)



図表 20：H2 レジ袋の特性と有料化容認の相関に関する仮説のパス図（検定後）
（破線は棄却を表す。）



6.2 考察

仮説の検証により、森林公園の特性について森林公園の有料化容認と、森林公園の利用適正化、森林公園のイベントの充実、森林公園の施設・設備の充実、森林公園の安全対策との間にはそれぞれ正の相関がある事が分かった。

さらに消費者特性についてレジ袋有料化容認と、レジ袋利用意向との間には負の相関がある事が分かった。規範意識と財全般についての有料化容認との関係に関しては相関があるとは言えないことが分かった。

また、レジ袋の特性についてレジ袋の利用適正化と、レジ袋の環境配慮素材性、レジ袋の価格、レジ袋の継続利用のインセンティブとの間にはそれぞれ正の相関がある事が分かった。しかしレジ袋のデザイン性との関係に関しては相関があるとは言えないことが分かった。

ここでは、更に議論を一步進めて、仮説の検証結果からどのような事が言えるかを考察し

ていく。

(1) 森林公園の特性についての仮説

H1-1：森林公園の利用適正化と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

→採択

利用者の利用態度が改善するのであれば、ある程度の有料化が認められることが分かった。また、今回の調査要素の中では最も標準化係数が高い。公園という共同利用施設の性質上、他者の利用態度は自身の効用に大きな影響を及ぼすため、このような結果になったと考えられる。

しかし、この調査では有料化が行われると、その財に対する意識が高まり、その結果、利用態度が改善するという前提で行われている。実際は有料化によって公園内が清掃されるため、有料化が容認されるという可能性が大きい。

H1-2：森林公園のイベントの充実と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

→採択

満足な内容のイベントが行われていれば有料化が容認されることが分かった。この結論を有効に生かす方法の一つとしてアンケート調査等を実施し、どのようなイベントが望まれているかを調査し、それを森林公園で実施することが考えられる。

今回の調査では内容面での充実を想定したが、実際にはイベントが行われる頻度、ターゲットの分類等も重要な要素となるだろう。

H1-3a：森林公園の施設・設備の充実と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

→採択

H1-3b：森林公園の施設・設備の充実と森林公園の有料化容認には負の相関がある。

→棄却

アスレチック等が整備されているほど、有料化が容認されることが分かった。今回の調査サンプルとして、比較的運動量の多い学生等の若年層または子供のいる主婦層が大部分を占めていることも影響していると考えられる。

自然保守の考えから負の仮説を想定したが、自然公園のような大規模なものならまだしも、森林公園規模のものなら、そのような考えは働かないと見られる。

H1-4：森林公園の安全対策と森林公園の有料化容認には正の相関がある。

→採択

森林公園の安全性が確保されているほど、有料化が容認されることが分かった。森林公園を利用するにあたり、自身や子供の安全を重視するのは妥当と言えよう。

しかし今回の調査要素の中では、標準化係数が最も低く、この点に関しては予想外のものとなった。このことは、H1-3の負の仮説の結果とは矛盾するが、森林公園に自然が残り、スリル性を考える回答者が存在することや、森林公園に安全性が整備されていない状態を回答者が想定できなかったことが原因として考えられる。

(2) 消費者特性についての仮説

H3-1：消費者の規範意識の高さと財全般についての有料化容認には正の相関がある。

→棄却

消費者の法や道徳を守ろうとする意識と財の有料化容認は無関係であることが分かった。有料化の目的は事例研究でも見た通り、利用適正化の他にも、財政難の解消やサービスの充実があり、利用適正化のみと関連性がある規範意識が有料化容認に結び付くのは難しい。

H2でも述べたが消費者の心理として自己の利益への直結を重視することが考えられる。そうすると、たとえ有料化により規範通りの利用が行われてもコスト負担は好まないのが現実的であると考えられる。

H3-2a：消費者のレジ袋利用意向とレジ袋有料化容認には正の相関がある。

→棄却

H3-2b：消費者の海水浴場利用意向と海水浴場有料化容認には正の相関がある

→棄却

財を利用するという考えと有料化の容認には一部に負の相関が見られた。平尾（2004）では公園を利用する人ほど、その公園が続いて欲しいため有料化を容認するが、負担額とは負の相関があるという結果が得られている。

今回の調査では、仮想のレジ袋と海水浴場を用いたため、先行研究に見られる財への愛着というものがないことが、有料化容認との無関係性の一つの原因と考えられる。

レジ袋のみ負の相関が見られたのは海水浴場に比べ絶対的な利用頻度が高く、有料化した状況が想起しやすく、頻繁に利用することを考慮すると大きな負担となると考えた消費者が多いためと考えられる。

(3) レジ袋の特性についての仮説

H2-1：レジ袋の環境配慮素材性とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

→採択

環境に配慮したレジ袋ほど、購入後の持参意向が高いことが分かった。レジ袋を利用す

る代わりにエコバックを持参するという取組や考えがあるように、環境に配慮する人々によってこの相関性が高められていると考えられる。

しかし、仮説が採択された要素の中では最も標準化係数が低いため、持参意向上を高めるためには、より消費者個人の利益に直結するインセンティブも必要であると言える。

H2-2: レジ袋の価格とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

→採択

レジ袋の価格が高いほど、持参意向上が高まることが分かった。このことは、高い対価を払ってしまった以上引き続き利用しなければならないという消費者費用回収意欲が働いたと考えられる。

現実的には、レジ袋1枚の価格設定には上限があるのは自明で、上限価格を見極めた設定が重要となる。

H2-3: レジ袋の継続利用のインセンティブとレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

→採択

レジ袋を再度持参すると、割引特典があるほど、持参意向上が高まることが分かった。割引というインセンティブは、個人の利益に直結するということで多くの消費者が重視すると考えられる。標準化係数も調査要素の中で最も高く、妥当な結果といえる。

今回の調査項目は割引の有無の測定だが、実際にはどの程度割引されるか等も重要な要素となりうる。

H2-4: レジ袋のデザイン性とレジ袋の利用適正化には正の相関がある。

→棄却

レジ袋のデザインが消費者の趣向にあっても、持参意向上には影響しないことが分かった。この結果は依田ら(2004)により行われていた購入希望のアンケートと類似したものとなった。

やはりレジ袋のデザイン性とは普段使用するバック等に求めるものであり、やむを得ず購入したレジ袋に求められるものではないことが考えられる。それゆえ、そのデザイン性の印象が薄くなり、再度の持参に結び付かない可能性がある。

また、アンケート回答者が、レジ袋にデザイン性があるという状況を想起しづらかったということも考えられる。エコバックとワーディングを改善すれば異なる結果が出る可能性もあるだろう。

6.3 実務へのインプリケーション

考察を終えて、有料化事業をどのように行えば、より消費者に容認されるかを考えた。

追加分析（付属資料参照）により、男性に比べ、女性のレジ袋の再持参意向が高いことが分かった。これと同様に森林公園のアスレチック等の設備の充実と森林公園の有料化容認の関係等、消費者の状況が結果に影響していると考えられるものが多かった。やはり、既に有料である財と同様に、有料化を行う際にそれを認めてもらうには適切なターゲティングやニーズの把握を行う必要があると考える。

また規範意識の仮説やレジ袋の利用適正化の仮説で考察したように消費者個人の利益は有料化容認には重要な要素であると考えられる。今後の有料化事業にはこの点を意識することが望まれる。

そして、H3-2において「レジ袋利用意向」と「レジ袋有料化容認」については負の相関が見られるという結論となったのに対し、「海水浴場利用意向」と「海水浴場有料化容認」ことについては正、負いずれの相関も見られなかった。

このことは海水浴場が夏のみの利用ということで消費者になじみが薄く、有料化に対し、サービスが充実したり、他の消費者の利用が望ましい状況となり自身も快適に使える、サービス終了の懸念が軽減されるといった有料化の＋面を想起することが難しく、有料化の負担面といったマイナス面が見えてしまったのではないだろうか。

森林公園では、「有料化したことにより財に対してもったいないという消費者の意識が高まり、ゴミが持ち帰られ公園内が清潔になる」という「森林公園の利用適正化」因子、レジ袋では、「継続利用のインセンティブ」因子が最も有料化容認に影響を与えていた。この点から消費者は自身が利用する際被る利害を重視するという結論に至る。従って例えば一般的にはレジ袋を付ける場合有料という方向にあるが一部の店舗で行われているように買い物バッグを持参した場合値引きを行うというシステムの推進も有効と考えられる

6.4 今後の課題

特に利用意向について顕著だが、調査で使用した財が非常に限定的であった。もっと多くの財について調査しなければ、精度という面で厳しいものがある。

また今回やむを得ず一つの設問に二つの要素を盛り込んでしまった箇所があった。さらにH2の仮説でレジ袋を再持参するかという調査項目で意図した被説明変数「利用適正化」を測定できたかは疑問が残る。この点についても今回の調査の限界性を認識し、より適切な設問作成を心掛けていきたいと考える。

参考文献

横浜バリュー 2010のご案内

<http://www.city.yokohama.jp/me/somu/shigoto/sisatsu/panfuretto2010.pdf#search='横浜バリュー2010'>

増える救急車出動

<http://www.shikoku-np.co.jp/feature/tuiseki/306/index.htm>

観光庁HP

<http://www.mlit.go.jp/kankocho/>

職員駐車場を有料化

<http://ryukyushimpo.jp/news/storyid-30774-storytopic-5.html>

北日本動物福祉協会

http://pub.ne.jp/withinuneko/?entry_id=2456615

「望楼の芝」のキャンプ場有料化検討

<http://www.agara.co.jp/modules/dailynews/article.php?storyid=131922>

経済財政白書（H21年度）

東京新聞レジ袋有料化条例（2009.9.15）

伊藤太一（2009）「江戸時代の富士山における登山道・登山者管理と登山者による費用負担」『日本森林学会誌』 pp. 125-135

平尾元彦（2004）「公園マネジメント論における利用者負担の可能性」『広島大学マネジメント研究』 vol.4 pp. 127-137

藤田康太郎ら（2004）「海岸のゴミ減量化方策に関する研究」『学術講演便概』 pp. 351-352

依田浩敏ら（2004）「環境に優しいレジ袋の回収持参社会実験」『学術講演便概集』 pp. 763-764

付属資料(消費者特性回帰分析追加結果、調査票、ヒストグラム)

消費者の性別とレジ袋の利用適正化（調査票Vの回答結果）の相関について、追加的に回帰分析を行った。なお、性別については女性を0、男性を1とするダミー変数として処理した。

付属資料1：性別とレジ袋利用適正化分析結果

| モデル | | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-----|------|-------|--------|--------|
| 1 | (定数) | | 33.456 | 0.00 |
| | 性別 | -.385 | -3.703 | .00*** |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数：0.148

修正決定係数：0.137

女性の方がレジ袋持参意向高いという結論となる。

さらに本稿で単回帰分析では棄却が多かった消費者特性について、財全般についての有料化容認を被説明変数、規範意識、レジ袋利用意向、海水浴場利用意向を説明変数として重回帰分析を行った。

付属資料2：消費者特性と財全般についての有料化容認重回帰分析結果

| モデル | | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-----|----------|-------|-------|------|
| 1 | (定数) | | .000 | 1.00 |
| | 規範意識 | .146 | 1.278 | 0.20 |
| | 海水浴場利用意向 | -.036 | -.318 | 0.75 |
| | レジ袋利用意向 | -.019 | -.168 | 0.87 |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数：0.025

修正決定係数：-0.015

この結果を見ると本稿での消費者特性の仮説については全て棄却となる。

コンジョイント分析で「森林公園の有料化容認」について調査した設問V-1～V-8の設問の合計点を被説明変数、「規範意識」、「レジ袋利用意向」、「海水浴場利用意向」の各因子で説明される設問の各合計点をそれぞれ説明変数とし重回帰分析を行った。

付属資料3：消費者特性と森林公園の有料化容認重回帰分析結果

| モデル | | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-----|----------|-------|--------|------|
| | | ベータ | | |
| 1 | (定数) | | 3.879 | 0.00 |
| | 規範意識 | -.245 | -1.362 | 0.18 |
| | レジ袋利用意向 | -.113 | -.629 | 0.53 |
| | 海水浴場利用意向 | -.103 | -.586 | 0.56 |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数：0.076

修正決定係数：-0.016

消費者特性の各相関係数は負で有意が見られなかったため、消費者特性と森林公園の有料化容認には相関性が無いという結論に至る。本稿で正の相関が有意となった。「利用適正化」を望む消費者は規範意識が高いと考えられるが、やはり直接的な結びつきがあるとは言い難いようである。

「レジ袋有料化容認」、「海水浴場有料化容認」の因子それぞれを被説明変数、「規範意識」、「レジ袋利用意向」、「海水浴場利用意向」の因子をそれぞれ説明変数とし重回帰分析を行った。

付属資料4：消費者特性とレジ袋有料化容認重回帰分析結果

| モデル | | 標準化係数 | t 値 | 有意確率 |
|-----|----------|-------|--------|--------|
| | | ベータ | | |
| 1 | (定数) | | .000 | 1.00 |
| | 規範意識 | .125 | 1.143 | 0.26 |
| | 海水浴場利用意向 | -.153 | -1.411 | 0.16 |
| | レジ袋利用意向 | -.257 | -2.341 | 0.02** |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数：0.106

修正決定係数：0.071

本稿の単回帰分析の結果と同様に「レジ袋利用意向」の相関係数が負で5%水準で有意となった。考察でも述べたが、レジ袋を利用する消費者ほど有料化によって発生するコストが重荷であると考えられるためこのような結果となったと考えられる。規範意識の相関係数が有意とならなかったのも、有料化による利用環境改善より、自身が負担するコストを重視したためと考えられる。

付属資料5：消費者特性と海水浴場有料化容認重回帰分析結果

| モデル | 標準化係数 | | t 値 | 有意確率 |
|-----|----------|-------|--------|------|
| | ベータ | | | |
| 1 | (定数) | | .000 | 1.00 |
| | 規範意識 | .154 | 1.373 | 0.17 |
| | 海水浴場利用意向 | -.166 | -1.495 | 0.14 |
| | レジ袋利用意向 | -.079 | -.705 | 0.48 |

*** 1%水準で有意 ** 5%水準で有意 * 10%水準で有意

決定係数：0.056

修正決定係数：0.071

本稿における単回帰分析結果と同様に「海水浴場利用意向」因子の相関係数は負で、有意とはならなかった。このことは海水浴場が夏のみの利用ということで消費者になじみが薄く、絶対的な利用頻度が低く、消費者が有料化によるコストを過小評価していることが原因と考えられる。

付属資料6：調査票

「有料化事業の有効性」に関する調査票

この度、「有料化事業の有効性」の論文を作成するにあたってアンケート調査を実施することになりました。本調査におけるデータは論文作成のための分析のみに使用し、個人を特定することとはなく、回答者の皆様にご迷惑をおかけすることは一切ございません。

誠に恐縮ですが、趣旨をご理解の上、アンケートにご協力のほど、宜しくお願い致します。

慶應義塾大学商学部4年・濱岡豊研究会8期生 石村徹也

・性別：(男 ・ 女)

・年齢：() 歳

I. 以下の設問に、自身が最も当てはまると思うもの1つに○を付けてください。

[非常にそう思う ← 5 4 3 2 1 → 全くそう思わない]

(1) 冷房の設定温度に気をかける等環境に配慮する方だ。 [5 4 3 2 1]

(2) いじめは許せない。 [5 4 3 2 1]

(3) ペットを捨てる人は許せない。 [5 4 3 2 1]

(4) 与えられた仕事は責任を持ってこなす方だ。 [5 4 3 2 1]

(5) ゴミの分別、リサイクルには協力的な方だ。 [5 4 3 2 1]

(6) 電車内で通話をする等、マナーに反する人を見つけたら憤りを感じる。
[5 4 3 2 1]

(7) 環境汚染防止につながるレジ袋の有料化には賛成だ。 [5 4 3 2 1]

(8) 駅構内のトイレが清潔になるのであれば、公衆トイレの有料化も容認する。
[5 4 3 2 1]

(9) 真に緊急を要する患者に利用してもらうために、救急車を有料サービスとしても構わない。 [5 4 3 2 1]

(10) 海水浴場のゴミが減る等、より快適な環境で利用できるようになれば海水浴場の有料化には賛成だ。 [5 4 3 2 1]

(11) 森林公園は無料であるべきだ。 [5 4 3 2 1]

※森林公園とは、ある程度の林があり、アスレチック等の施設がある公園を指します。

II. 以下の設問に、自身が最も当てはまると思うもの1つに○を付けてください。

[非常にそう思う ← 5 4 3 2 1 → 全くそう思わない]

- (1) スーパー、コンビニでよくレジ袋を受け取る方だ。 [5 4 3 2 1]
- (2) レジ袋が有料の店より、無料の店を利用したい。 [5 4 3 2 1]
- (3) 買い物をする際、「レジ袋はいらない」と店員に伝えることは滅多にない。
[5 4 3 2 1]
- (4) スーパー、コンビニに買い物袋は持参しない方だ。 [5 4 3 2 1]
- (5) スーパー、コンビニでレジ袋を受け取ることに抵抗はない。 [5 4 3 2 1]
- (6) スーパーでレジ袋がセルフ・サービスならば、多めに受け取る。
[5 4 3 2 1]
- (7) レジ袋が有料化されると困る。 [5 4 3 2 1]
- (8) レジ袋は無料であるべきだ。 [5 4 3 2 1]
- (9) ほぼ毎年海水浴場に行く。 [5 4 3 2 1]
- (10) これから毎年、出来る限り海水浴場に行きたい。 [5 4 3 2 1]
- (11) 海で泳ぐのが好きだ。 [5 4 3 2 1]
- (12) 海水浴は夏に欠かせないイベントである。 [5 4 3 2 1]
- (13) 自分が行きたい、あるいは行くと仮定できる海水浴場の入場料が有料化したら、
無料の海水浴場を探し、そちらに行く。 [5 4 3 2 1]
- (14) 海水浴場の入場料は無料であるべきだ。 [5 4 3 2 1]
- (15) 海水浴場で入場料を取られるのは抵抗がない。 [5 4 3 2 1]

Ⅲ. 現在、無料の森林公園が存在するとします。

しかし、この公園はゴミを投棄する利用者が多く、また一部、柵のない崖や池があります。このような状況を踏まえ、利用者に適切に利用してもらうのと、安全性の強化、またサービス向上のため、森林公園の利用の有料化を考えています。

有料化によって、森林公園が、1～8の各条件になった時、あなたはいくらまで払うことができますか。1～5に○をつけてください。なお、イベントはあなたが行く度におこなわれていて、例としてバーベキュー大会等があります。

森林公園（1）

| | | | |
|----------------------|--------------------|------------------------------|------------------|
| 利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的。 | 満足な内容のイベントが行われている。 | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設は存在しない。 | 崖や池の柵の設置が完全ではない。 |
|----------------------|--------------------|------------------------------|------------------|

この森林公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| | | | | |
|------|------|------|------|----|
| 700円 | 500円 | 300円 | 100円 | 0円 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

森林公園（2）

| | | | |
|--------------------------|----------------------|------------------------------|-------------------|
| 利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が不衛生。 | イベントの内容が満足できるものではない。 | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設は存在しない。 | 崖や池の柵の設置が行き届いている。 |
|--------------------------|----------------------|------------------------------|-------------------|

この自然公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| | | | | |
|------|------|------|------|----|
| 700円 | 500円 | 300円 | 100円 | 0円 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

森林公園（3）

| | | | |
|----------------------|--------------------|------------------------------|-------------------|
| 利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的。 | 満足な内容のイベントが行われている。 | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設は存在しない。 | 崖や池の柵の設置が行き届いている。 |
|----------------------|--------------------|------------------------------|-------------------|

この森林公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| | | | | |
|------|------|------|------|----|
| 700円 | 500円 | 300円 | 100円 | 0円 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

森林公園（４）

| | | | |
|----------------------|----------------------|---------------------------|-------------------|
| 利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的。 | イベントの内容が満足できるものではない。 | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設がある。 | 崖や池の柵の設置が行き届いている。 |
|----------------------|----------------------|---------------------------|-------------------|

この森林公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| | | | | |
|------|------|------|------|----|
| 700円 | 500円 | 300円 | 100円 | 0円 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

森林公園（５）

| | | | |
|--------------------------|----------------------|------------------------------|------------------|
| 利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が不衛生。 | イベントの内容が満足できるものではない。 | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設は存在しない。 | 崖や池の柵の設置が完全ではない。 |
|--------------------------|----------------------|------------------------------|------------------|

この森林公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| | | | | |
|------|------|------|------|----|
| 700円 | 500円 | 300円 | 100円 | 0円 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

森林公園（６）

| | | | |
|--------------------------|--------------------|---------------------------|-------------------|
| 利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が不衛生。 | 満足な内容のイベントが行われている。 | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設がある。 | 崖や池の柵の設置が行き届いている。 |
|--------------------------|--------------------|---------------------------|-------------------|

この森林公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| | | | | |
|------|------|------|------|----|
| 700円 | 500円 | 300円 | 100円 | 0円 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

森林公園（7）

| | | | |
|----------------------|----------------------|---------------------------|------------------|
| 利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的。 | イベントの内容が満足できるものではない。 | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設がある。 | 崖や池の柵の設置が完全ではない。 |
|----------------------|----------------------|---------------------------|------------------|

この森林公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| | | | | |
|------|------|------|------|----|
| 700円 | 500円 | 300円 | 100円 | 0円 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

森林公園（8）

| | | | |
|--------------------------|--------------------|---------------------------|------------------|
| 利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が不衛生。 | 満足な内容のイベントが行われている。 | 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設がある。 | 崖や池の柵の設置が完全ではない。 |
|--------------------------|--------------------|---------------------------|------------------|

この森林公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| | | | | |
|------|------|------|------|----|
| 700円 | 500円 | 300円 | 100円 | 0円 |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

IV. Ⅲの設問に関する以下の質問に対して最も当てはまると思うもの1つに○を付けてください。 [非常にそう思う ← 5 4 3 2 1 → 全くそう思わない]

- (1) 森林公園にゴミが無いことは、利用者が適切に森林公園を利用しているからだ。 [5 4 3 2 1]
- (2) 遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設の存在は森林公園の設備を充実させていると言える。 [5 4 3 2 1]
- (3) 崖や池の柵の設置は利用者の安全確保につながると思う。 [5 4 3 2 1]
- (4) 入園料 700 円は最高限度価格として適切である。 [5 4 3 2 1]
- (5) 入園料 100 円は最低限度価格として適切である。 [5 4 3 2 1]

V. 今、ある1店舗のスーパーにおいて以下の1～8の特徴を持った有料のレジ袋が存在します。あなたがこのレジ袋を購入すると仮定して、1～8それぞれについて以下の設問にご回答をお願いします。

レジ袋(1)

| | | | |
|-------------------------|----------|-------------------|-------------------------------|
| 通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている | 価格は1枚50円 | 再度来店時に持参しても特典はない。 | デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない。 |
|-------------------------|----------|-------------------|-------------------------------|

このレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| | | | | |
|------|--------------|-----------|---------------|-------|
| 持参する | どちらかと言えば持参する | どちらともいえない | どちらかと言えば持参しない | 持参しない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

レジ袋(2)

| | | | |
|-----------------------------|----------|-------------------|--------------------|
| 素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない。 | 価格は1枚10円 | 再度来店時に持参しても特典はない。 | デザインがあなたの趣向に合っている。 |
|-----------------------------|----------|-------------------|--------------------|

このレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| | | | | |
|------|--------------|-----------|---------------|-------|
| 持参する | どちらかと言えば持参する | どちらともいえない | どちらかと言えば持参しない | 持参しない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

レジ袋(3)

| | | | |
|-------------------------|----------|-------------------|--------------------|
| 通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている | 価格は1枚50円 | 再度来店時に持参しても特典はない。 | デザインがあなたの趣向に合っている。 |
|-------------------------|----------|-------------------|--------------------|

このレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| | | | | |
|------|--------------|-----------|---------------|-------|
| 持参する | どちらかと言えば持参する | どちらともいえない | どちらかと言えば持参しない | 持参しない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

レジ袋 (4)

| | | | |
|-------------------------|----------|---|--------------------|
| 通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている | 価格は1枚10円 | 再度来店時に持参すると、一定数集めると、商品が割引価格で提供されるポイントがつく。 | デザインがあなたの趣向に合っている。 |
|-------------------------|----------|---|--------------------|

このレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| | | | | |
|------|------------------|---------------|-------------------|-------|
| 持参する | どちらかと言え ば持参する | どちらともいえ ない | どちらかと言え ば持参しない | 持参しない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

レジ袋 (5)

| | | | |
|-----------------------------|----------|-------------------|-------------------------------|
| 素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない。 | 価格は1枚10円 | 再度来店時に持参しても特典はない。 | デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない。 |
|-----------------------------|----------|-------------------|-------------------------------|

このレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| | | | | |
|------|------------------|---------------|-------------------|-------|
| 持参する | どちらかと言え ば持参する | どちらともいえ ない | どちらかと言え ば持参しない | 持参しない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

レジ袋 (6)

| | | | |
|-----------------------------|----------|--|--------------------|
| 素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない。 | 価格は1枚50円 | 再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引価格で提供されるポイントがつく。 | デザインがあなたの趣向に合っている。 |
|-----------------------------|----------|--|--------------------|

このレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| | | | | |
|------|------------------|---------------|-------------------|-------|
| 持参する | どちらかと言え ば持参する | どちらともいえ ない | どちらかと言え ば持参しない | 持参しない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

レジ袋 (7)

| | | | |
|-------------------------|----------|--|-------------------------------|
| 通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている | 価格は1枚10円 | 再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引価格で提供されるポイントがつく。 | デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない。 |
|-------------------------|----------|--|-------------------------------|

このレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| | | | | |
|------|------------------|---------------|-------------------|-------|
| 持参する | どちらかと言え ば持参する | どちらともいえ ない | どちらかと言え ば持参しない | 持参しない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

レジ袋 (8)

| | | | |
|-----------------------------|----------|--|-------------------------------|
| 素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない。 | 価格は1枚50円 | 再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引価格で提供されるポイントがつく。 | デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない。 |
|-----------------------------|----------|--|-------------------------------|

このレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| | | | | |
|------|------------------|---------------|-------------------|-------|
| 持参する | どちらかと言え ば持参する | どちらともいえ ない | どちらかと言え ば持参しない | 持参しない |
| 5 | 4 | 3 | 2 | 1 |

VI. Vの設問に関する以下の質問に対して最も当てはまると思うもの1つに○を付けてください。 [非常にそう思う ← 5 4 3 2 1 → 全くそう思わない]

(1) 有料レジ袋の価格として50円は高価だ。 [5 4 3 2 1]

(2) 有料レジ袋の価格として10円は高価ではない。 [5 4 3 2 1]

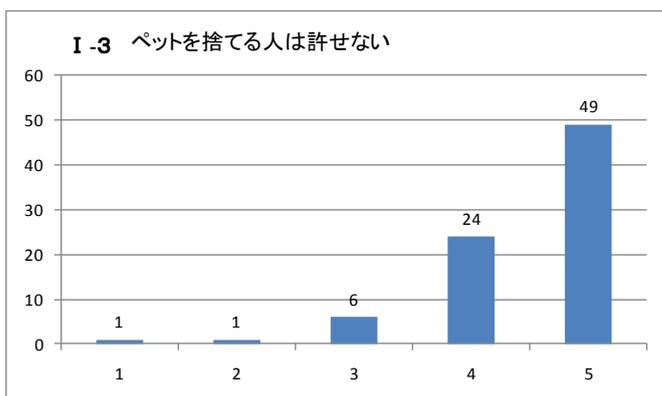
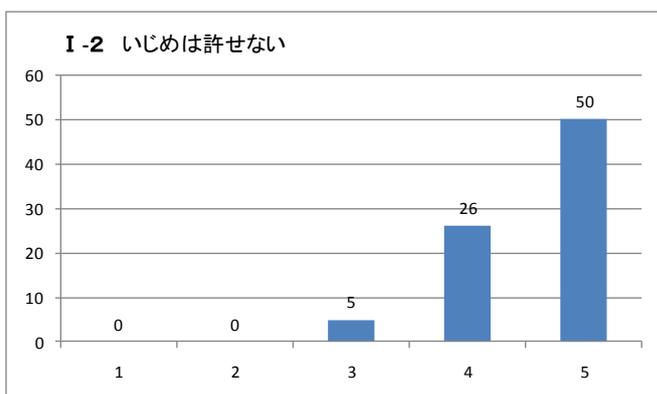
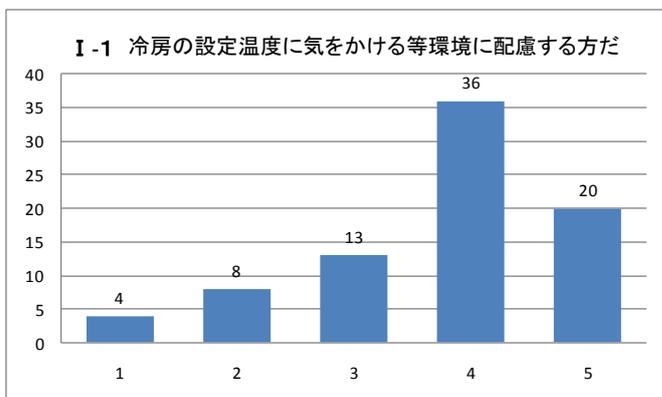
(3) 再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引価格で提供されるポイントがつくことは、再来店の際に有料レジ袋を持参する動機となりうる特典である。

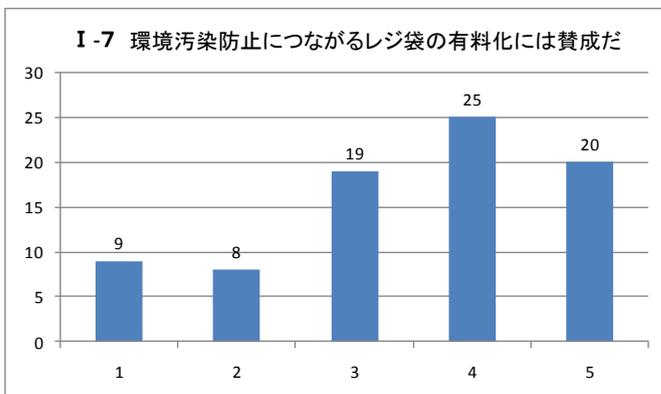
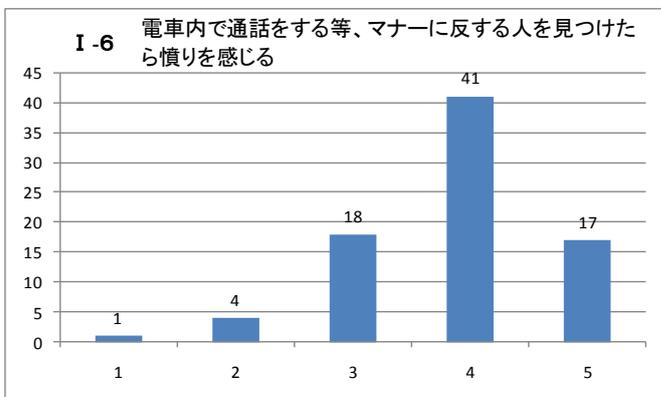
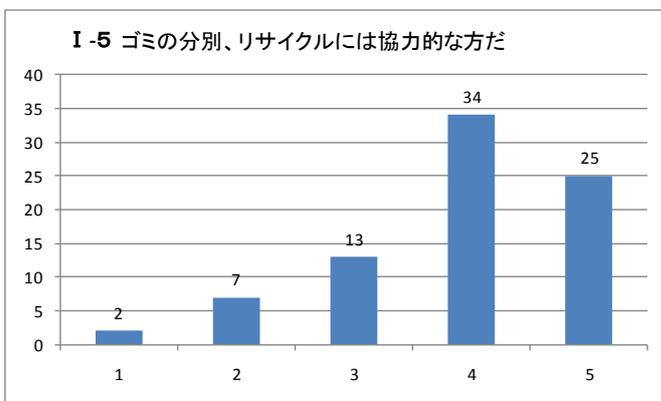
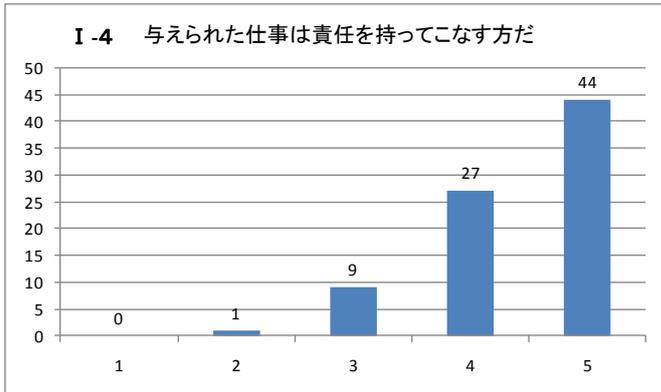
[5 4 3 2 1]

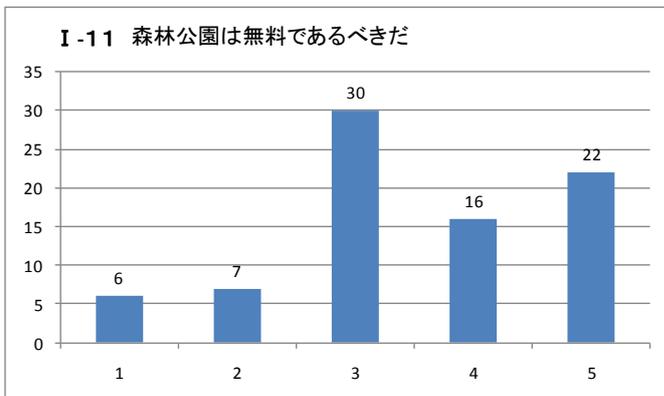
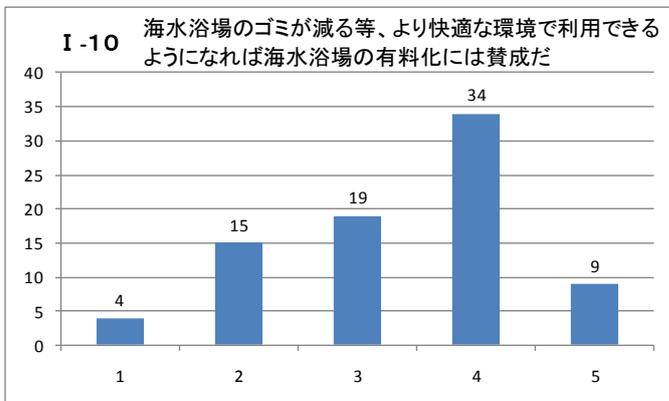
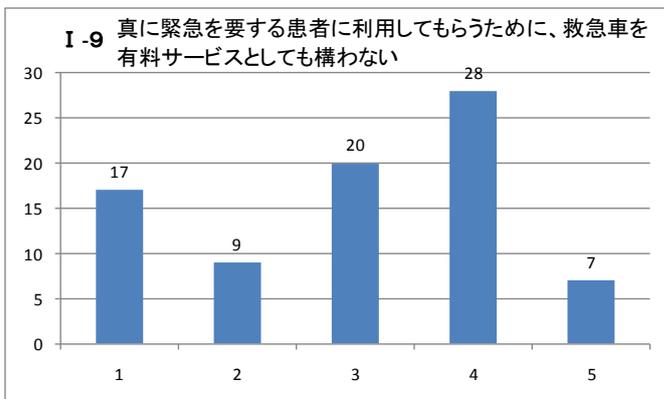
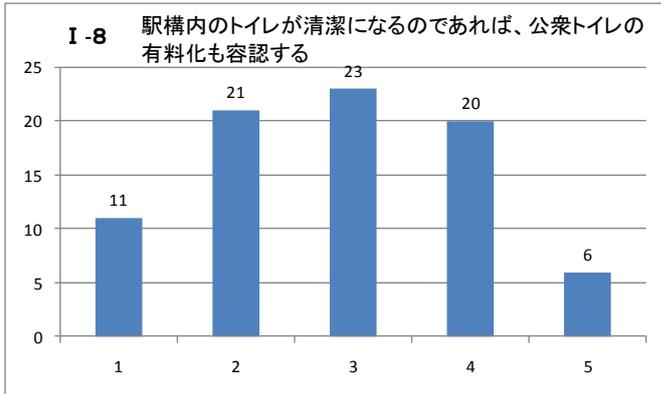
アンケートは以上です。ご協力ありがとうございました。

付属資料4：ヒストグラム

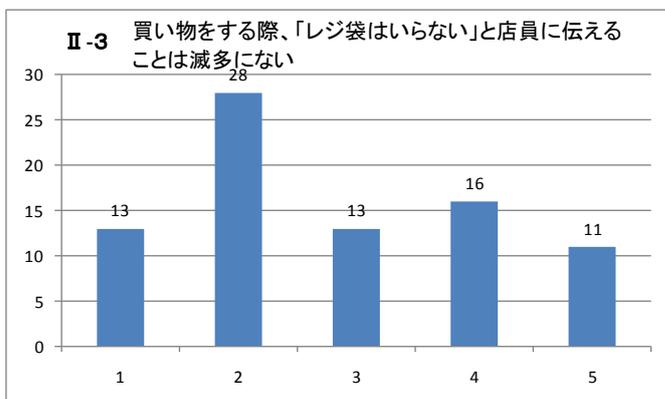
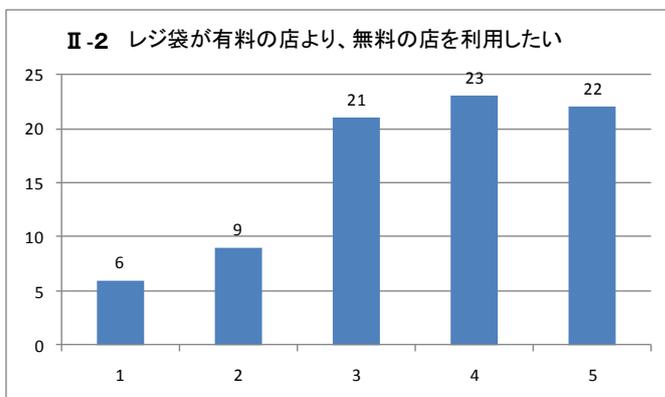
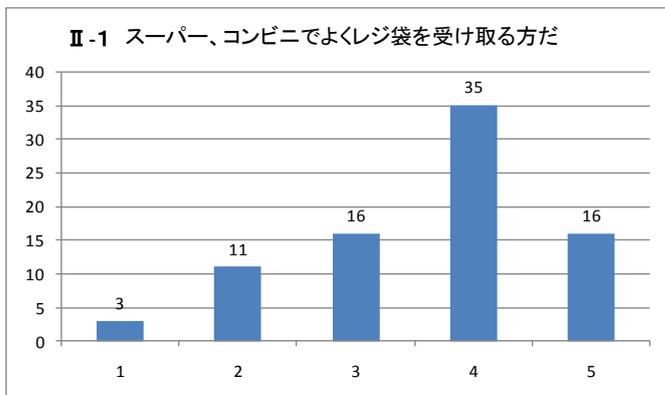
I [全くそう思わない ← 1 2 3 4 5 → 非常にそう思う]

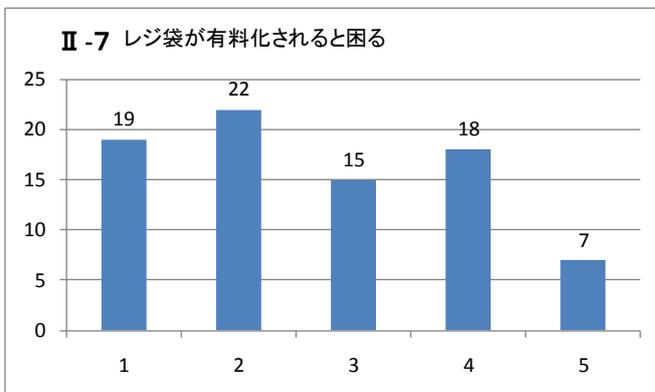
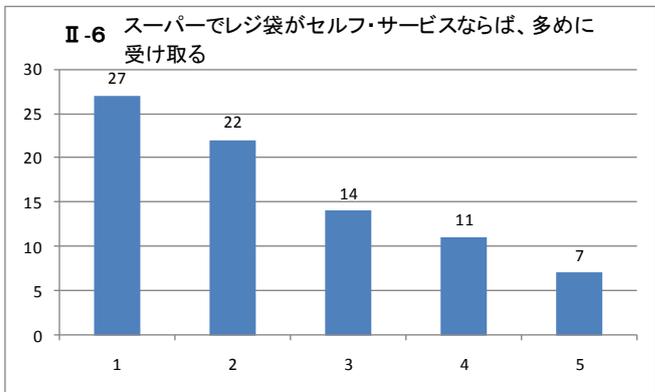
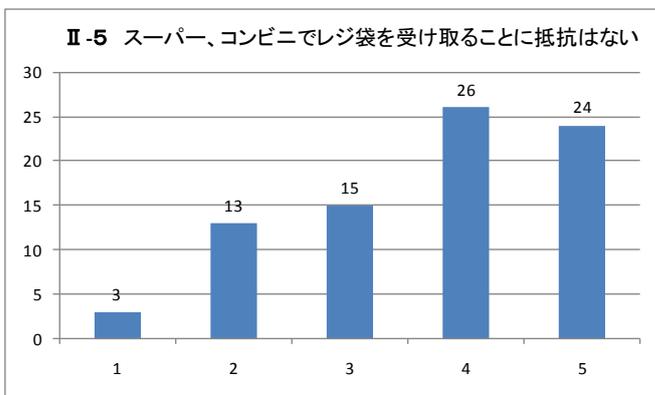
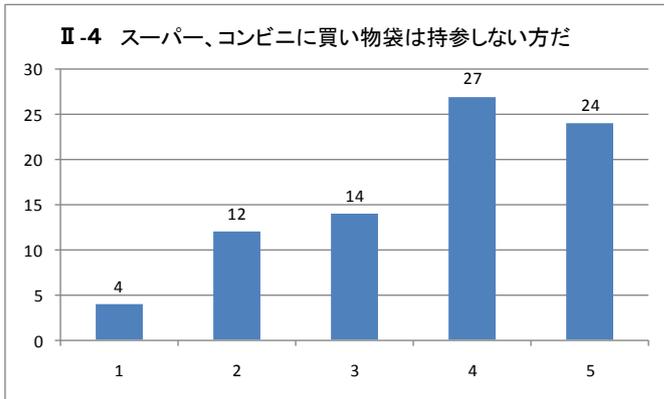


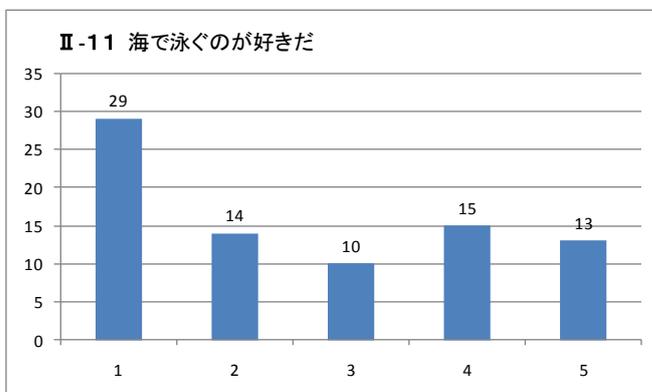
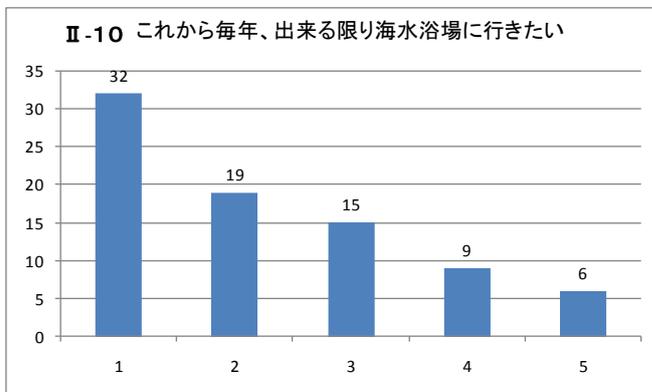
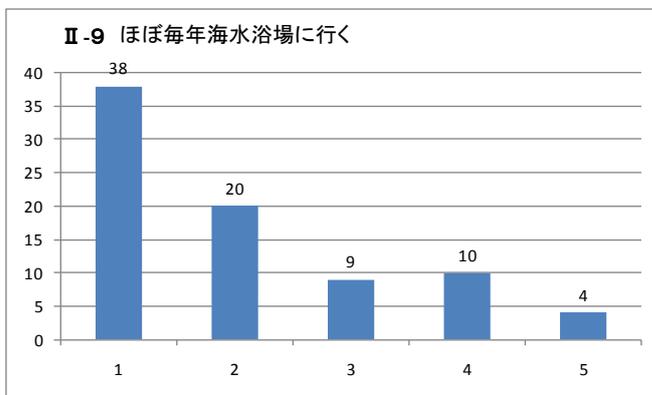
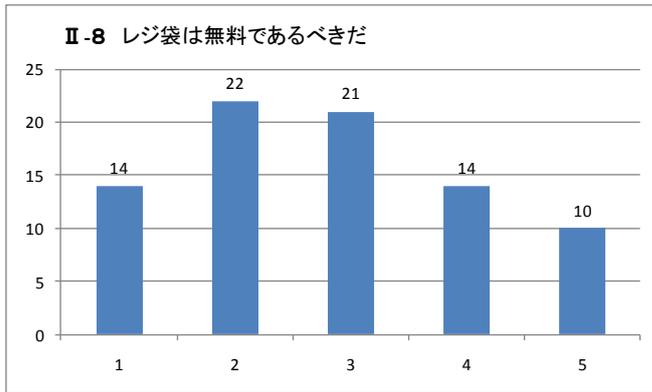


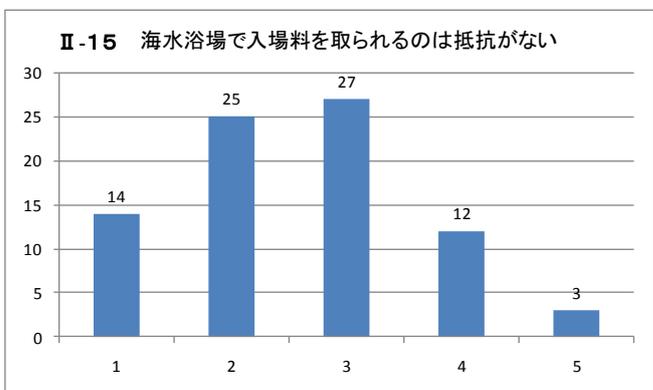
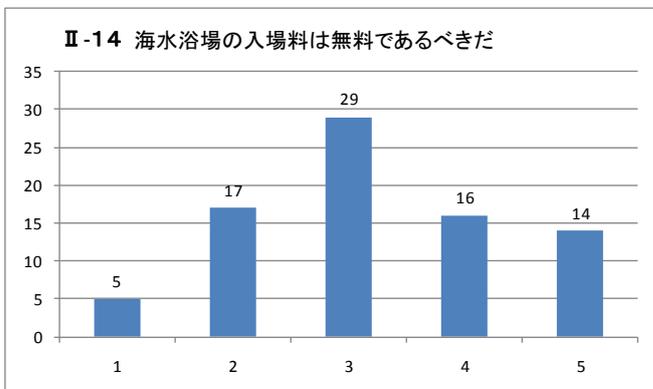
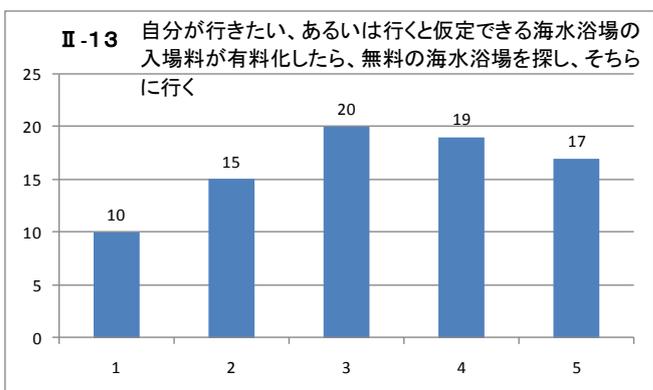
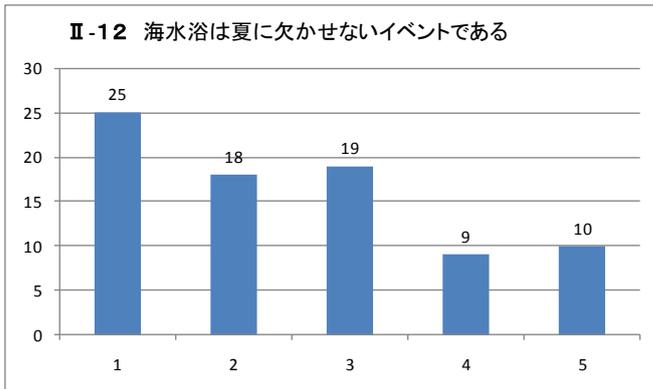


Ⅱ [全くそう思わない ← 1 2 3 4 5 → 非常にそう思う]





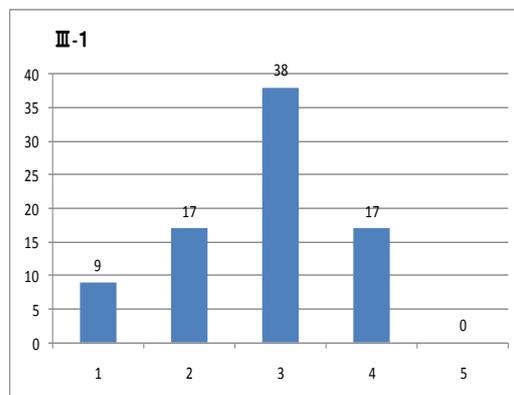




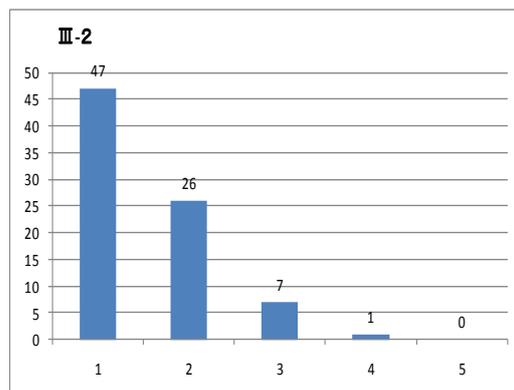
Ⅲ. 以下の森林公園の毎回の入園料としていくらまで払えますか？

| 0円 | 100円 | 300円 | 500円 | 700円 |
|----|------|------|------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

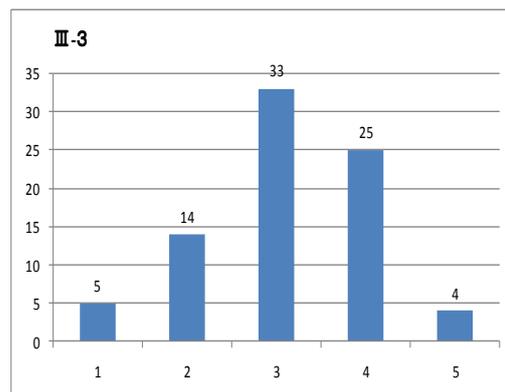
Ⅲ-1
 利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的
 満足な内容のイベントが行われている
 遊歩道、レストハウス、アスレック等の施設は存在しない
 崖や池の柵の設置が完全ではない



Ⅲ-2
 利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が
 不衛生
 イベントの内容が満足できるものではない
 遊歩道、レストハウス、アスレック等の施設は存在しない
 崖や池の柵の設置が行き届いている。



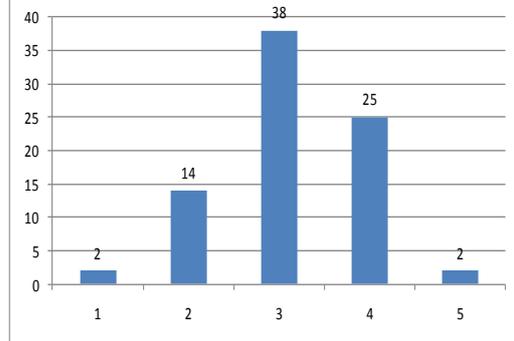
Ⅲ-3
 利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的
 満足な内容のイベントが行われている
 遊歩道、レストハウス、アスレック等の施設は存在しない
 崖や池の柵の設置が行き届いている



Ⅲ-4

利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的
イベントの内容が満足できるものではない
遊歩道、レストハウス、アスチック等の施設がある
崖や池の柵の設置が行き届いている

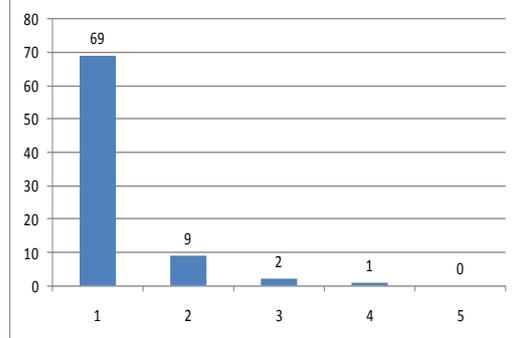
Ⅲ-4



Ⅲ-5

利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が
不衛生
イベントの内容が満足できるものではない
遊歩道、レストハウス、アスチック等の施設は存在しない
崖や池の柵の設置が完全ではない

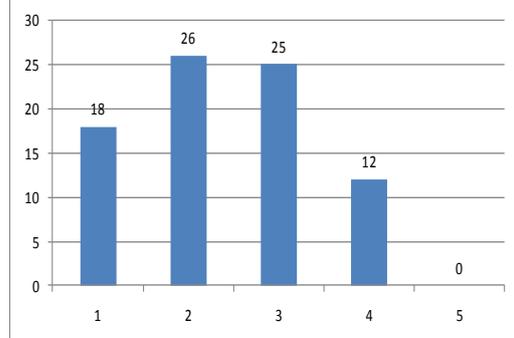
Ⅲ-5



Ⅲ-6

利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が
不衛生
満足な内容のイベントが行われている
遊歩道、レストハウス、アスチック等の施設がある
崖や池の柵の設置が行き届いている

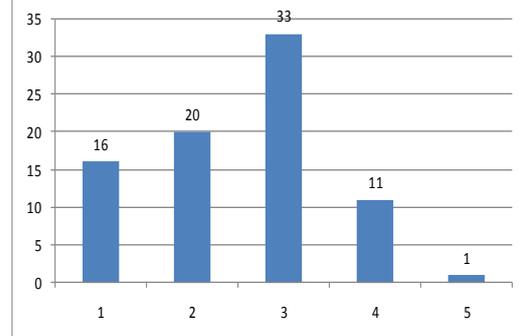
Ⅲ-6



Ⅲ-7

利用者がゴミを持ち帰り、公園内が衛生的
イベントの内容が満足できるものではない
遊歩道、レストハウス、アスチック等の施設がある
崖や池の柵の設置が完全ではない

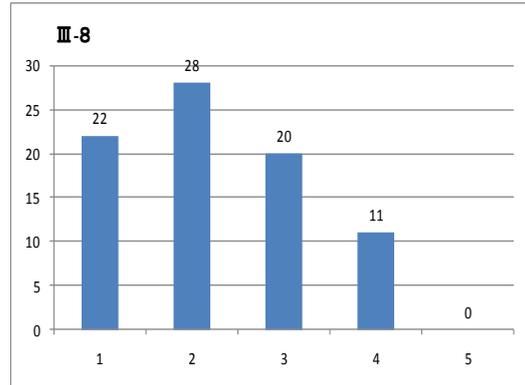
Ⅲ-7



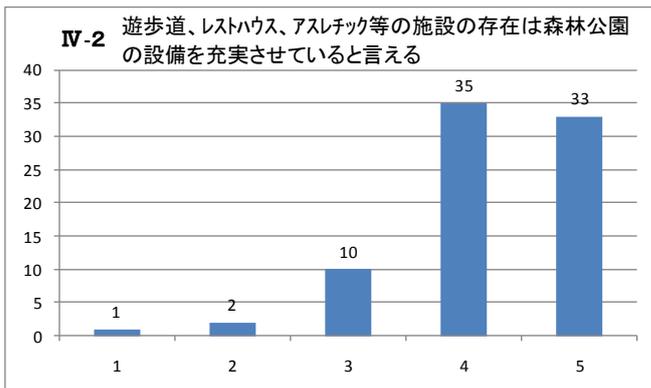
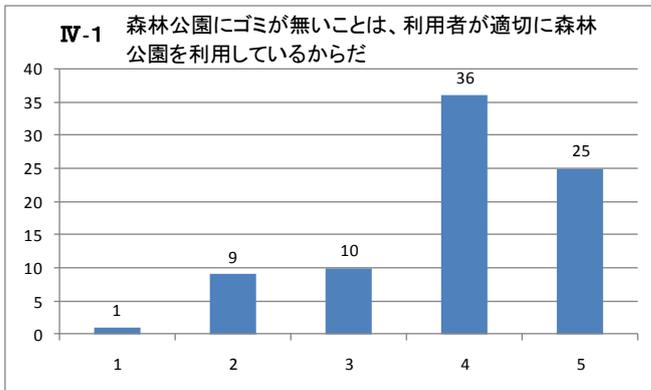
Ⅲ-8

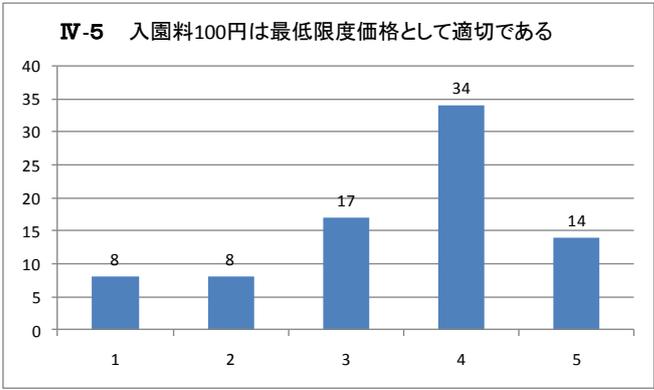
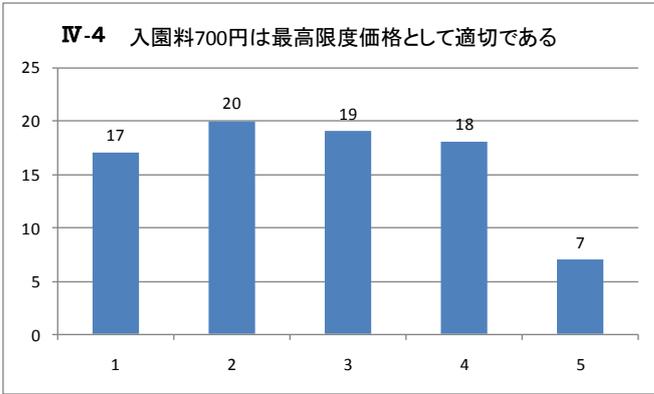
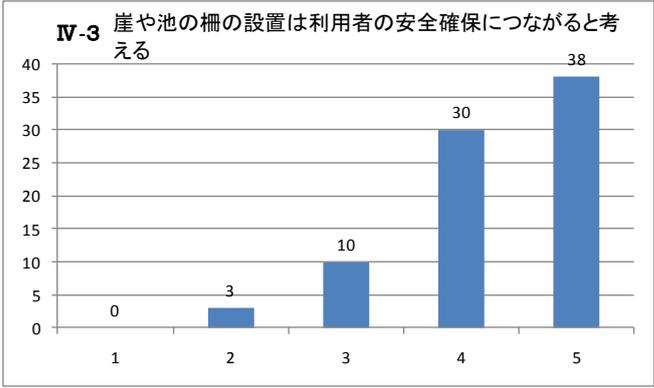
利用者のゴミ持ち帰りが徹底せず、公園内が不衛生

満足な内容のイベントが行われている
遊歩道、レストハウス、アスレチック等の施設がある
崖や池の柵の設置が完全ではない



Ⅳ [全くそう思わない ← 1 2 3 4 5 → 非常にそう思う]

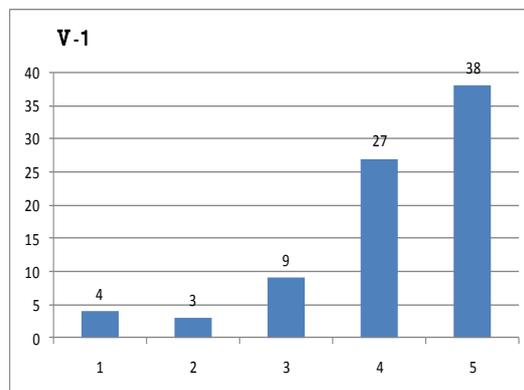




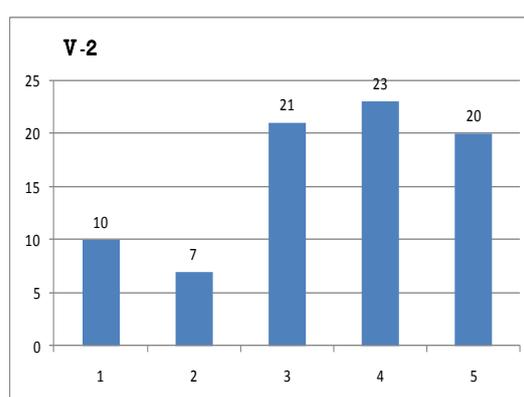
V. 以下のレジ袋を次回以降来店時持参しますか？

| 持参しない | どちらかと言え ば持参しない | どちらともいえ ない | どちらかと言え ば持参する | 持参する |
|-------|-------------------|---------------|------------------|------|
| 1 | 2 | 3 | 4 | 5 |

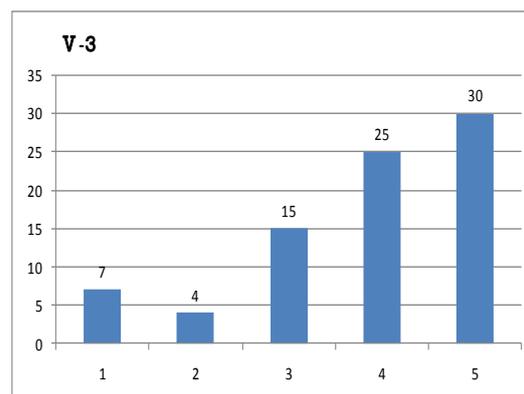
V-1
 通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている
 価格は1枚50円
 再度来店時に持参しても特典はない
 デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない



V-2
 素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない
 価格は1枚10円
 再度来店時に持参しても特典はない
 デザインがあなたの趣向に合っている



V-3
 通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている
 価格は1枚50円
 再度来店時に持参しても特典はない
 デザインがあなたの趣向に合っている。



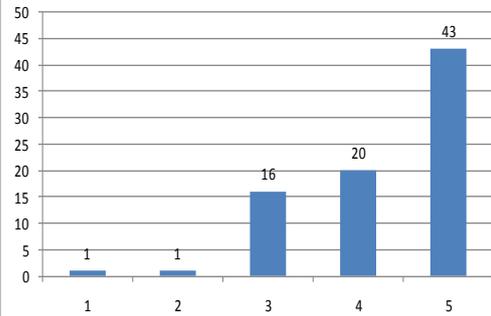
V-4

通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている

価格は1枚10円

再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引価格で提供されるポイントがつく
デザインがあなたの趣向に合っている。

V-4



V-5

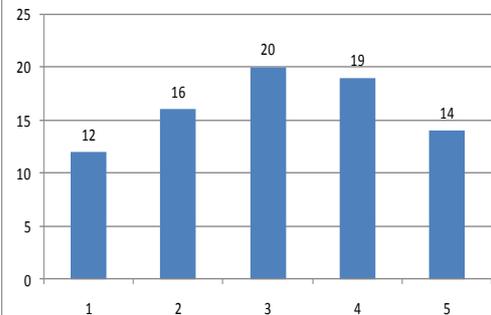
素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない

価格は1枚10円

再度来店時に持参しても特典はない

デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない

V-5



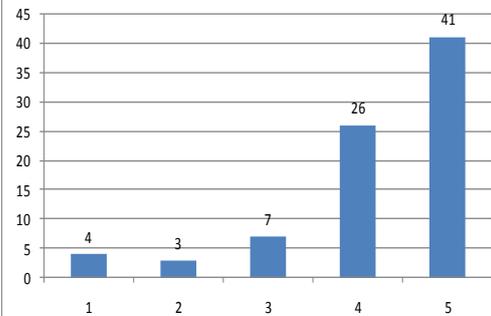
V-6

素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない

価格は1枚50円

再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引価格で提供されるポイントがつく
デザインがあなたの趣向に合っている

V-6



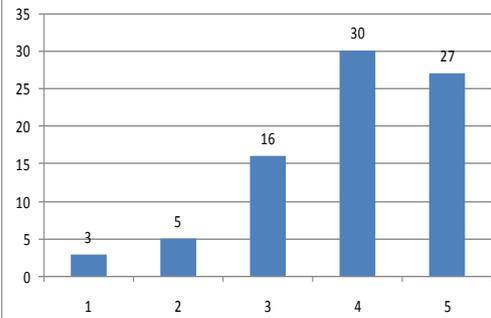
V-7

通常のレジ袋より環境に優しい素材が使われている

価格は1枚10円

再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引価格で提供されるポイントがつく
デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない

V-7



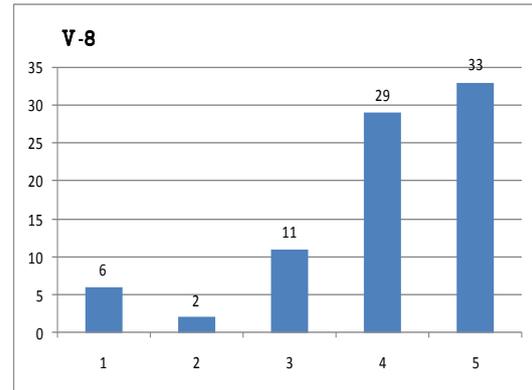
V-8

素材は通常のスーパーで配布されているものと変わらない

価格は1枚50円

再度来店時に持参すると、一定数集めると商品が割引価格で提供されるポイントがつく

デザインは通常のスーパーで配布されているものと変わらない



VI [全くそう思わない ← 1 2 3 4 5 → 非常にそう思う]

